

NON VESSEL OPERATING COMMON CARRIER

NVOCC

第一種利用運送業

弊社は、いわば貨物の「旅行代理店」です。自社で船舶や倉庫などを所有するのではなく、スペースをチャーターし、目的地までの最適のルートを決めて貨物を運ぶ、利用運送業です。邦外船社、同盟、盟外船社を問わず、ほとんどの船社とも綿密かつ有効な関係にあり、NVOCC (Non Vessel Operating Common Carrier) にとって最も重要かつ問題となる運賃、スペース等の問題に関しても多大の便宜、協力を受けやすい立場にあります。

主な北米航路利用船社

CMA CGM COSCO EVERGREEN Hapag-Lloyd HMM MSC MAERSK LINE ONE OOCL
SWIRE SHIPPING YANG MING ZIM WAN HAI LINES T.S. LINES MATSON MARIANA EXPRESS LINES

北米、欧州、アジアなどをはじめ、世界の輸出入、トータルコストの低減や簡単な手続きでのドア・ツー・ドア (door to door) などのきめ細かいサービスを提供します。特に、プラント、オーバーゲージカーゴ、危険物など、他同業者では受けることが難しい特殊カーゴを得意としています。



メリット
1

輸送方法の多様化による荷主ニーズの適正対応

最近の多様化した国際輸送ニーズに対応して、最適な輸送方式の提供が可能です。

メリット
2

ジャストインタイムによる物流合理化

海外の提携会社や駐在員等との連携や情報ネットワークの整備により、カーゴトレース (貨物追跡管理) や適切な輸送手段などによるジャストインタイムサービスが提供できます。

メリット
3

トータルコストの削減

ドア・ツー・ドアの輸送サービスとして、書類作成から通関、その他手続き一切を当社が一貫責任のもとに実施するので、荷主としては結果的に物流コストの削減につながります。

 JAPAN TRUST

<https://www.jpntrust.co.jp/>

名古屋本社

〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内2-17-12
丸の内エステートビル9階

東京本社

〒108-0075
東京都港区港南 2-16-1
品川イーストワンタワー 7階

大阪支店

〒541-0054
大阪府大阪市中央区南本町4-3-16
ブラスタワー御堂筋本町2706

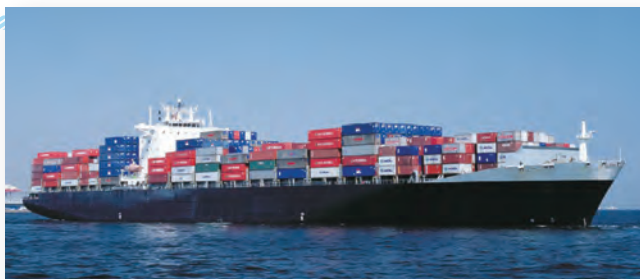
FCL SERVICE FOR NORTH AMERICA

北米輸送のエキスパート

ジャパントラストは、北米向けコンテナ輸送を行う全ての主要船社とS/C(契約)を結んでいます。そのため、全船社のサービス(運賃、航海ルート、スケジュール等)の中から、それぞれのお客様にあった輸送方法をご提案させていただくことができます。日本出しはもちろん、三国間、ドア・ツー・ドア、特殊貨物(オーバーゲージ、リーファー、危険品、コイル)、DDP(関税立替)等、どんな貨物にも対応します。

北米FCLに特化したNVOCC

ジャパントラストは、北米向けコンテナ輸送を行う全ての主要船社とS/C(契約)を結んでおります。そのため、全船社のサービス(運賃、航海ルート、スケジュール等)の中から、それぞれのお客様にあった輸送方法をご提案させていただくことができます。日本出しはもちろん、三国間、ドア・ツー・ドア、特殊貨物(オーバーゲージ、リーファー、危険品、コイル)、DDP(関税立替)等、どんな貨物にも対応いたします。



世界ランキング第4位

2024年8月時点において、ジャパントラストは日本発アメリカ向けコンテナ貨物の取扱量において、NVOCCとしては世界4位の実績を上げました。また、たくさんのお客様に支えられ、低迷期においても前年比プラス成長を実現することができました。今後も、ますます多くのお客様のお役に立てるよう、サービスの向上に努めてまいりますので、引き続きご愛顧賜りますようお願いいたします。

◆ JAPAN TO USA NVOCC 取り扱いコンテナランキング 2024.8

Datamyne UNITED STATES B/L HOUSES		2024.8
RANK	NVOCC	%
1	A社	3.91
2	B社	3.11
3	C社	2.14
4	JAPAN TRUST CO LTD (JAPT)	1.76
5	D社	1.66
6	E社	1.26
7	F社	1.12
8	G社	1.03
9	H社	0.83
10	I社	0.80
Total		100.00

おかげさまで
世界
第4位

北米発輸入輸送実績

アメリカNo.1※ミネラルウォーター

CRYSTAL GEYSER

北米発輸入案件においても、
現地価格の安い運賃や確実なスペースをご提供します。
また、納期に合わせた輸送スケジュールの調整も、
弊社がShipper様との間に入ってスムーズに行います。

※ AC Nielsen Food Channel 2015 Gallon Size

北米からの輸入本数年間4,000TEU



GL GREAT LUCK GREAT LUCK INC.(G.L.I.)

アメリカ現地法人
Great Luck Inc.
1861 WESTERN WAY, TORRANCE, CA 90501
TEL:310-984-1340

JAPAN TRUST

<https://www.jpntrust.co.jp/>

名古屋本社
〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内2-17-12
丸の内エステートビル9階

東京本社
〒108-0075
東京都港区港南 2-16-1
品川イーストワンタワー 7階

大阪支店
〒541-0054
大阪府大阪市中央区南本町4-3-16
ブランスタワー御堂筋本町2706

Japan Trust Office

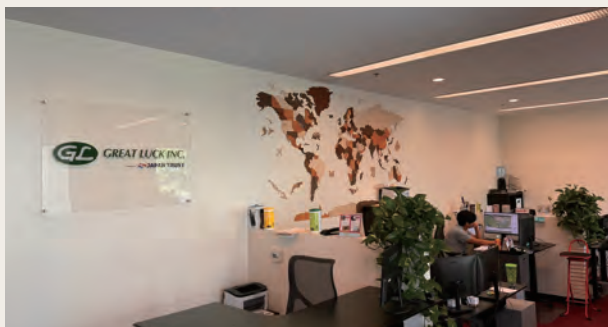
オフィス（海外拠点）

USA OFFICE

[Los Angeles]



北米現地法人の**日本人スタッフ中心**の迅速でスムーズな対応！



スタッフの9割が日本人

ジャパントラスト株式会社の北米現地法人、GREAT LUCK INC.はロサンゼルスに拠点を構えております。日本で培った豊富なノウハウを基に、お客様の課題解決を迅速にサポートします。**スタッフの9割が日本人で構成**されており、タイムリーに情報を提供することで問題をスピーディーに解決します。



倉庫作業を自社で一貫

ロサンゼルス事務所には倉庫を構えており、トランスロード、保管、パッキングといった**倉庫作業を自社で一貫**して行っています。広大なアメリカでは、貨物の到着や出荷の過程で予期せぬ事態が発生することも少なくありません。当社では、貨物がスムーズに輸送されるよう、スタッフ一同が常に先回りしてフォローを行っています。

日本の「おもてなし」の精神を大切に、日系スタッフ中心による米国輸送のプロフェッショナル集団として、船会社よりも迅速かつ正確な情報伝達、問題解決、改善に努めています。

お客様にとって最良の物流パートナーとして高い評価をいただけるよう、全力でサポートいたします。

INLAND TRUCK TRANSPORT

アメリカ内陸トラック輸送

アメリカの内陸トラック輸送はおまかせください！

アメリカ全土にDoor to Doorの輸送が可能！

こんなお悩み
ありませんか？



- ✓ アメリカへ輸出をしたいけど、現地での運送会社が見つからない。
- ✓ 最近トラックがなかなかつかまらず、手配するのが大変になってきた。
- ✓ 現在の運送会社は、希望の日時通りに輸送してくれないので不安だ。
- ✓ 破損や汚損など、品質を落とさずに輸出できるのか不安だ。
- ✓ 現地でのトラブル時に日本語対応をして欲しい。

そのお悩み解消します！

アメリカ内陸輸送サービスを得意とするジャパントラストは、アメリカに現地法人Great Luck Inc.を構え、トラック輸送、トレーラー輸送、倉庫手配等の物流全般を請け負います。

アメリカをはじめ、メキシコ・カナダにも輸送ネットワークを持ち、特殊貨物（オーバーサイズ、リーファー、危険品、コイル等）、DDP（通関、関税立替）等、それぞれのお客様にあった輸送方法が手配可能です。

大手はもちろん、米系のあらゆる
ローカル運送会社に根を張った
ネットワーク



ジャパントラストでは、アメリカ全体をカバーする物流会社とのネットワークがあり、全米のあらゆるCY、CFS、RAMPにアクセス可能な運送会社（トラック）と契約をしています。長年培ってきた運送会社選定ノウハウで、案件や条件に、ご要望に最適な運送会社をオーダーメイドで手配します。

ジャパントラストの6つの強み

1. 現地法人を持ち、スムーズな対応



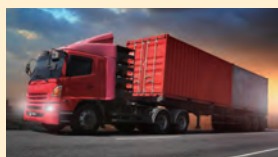
アメリカに現地法人Great Luck Inc.を持ち、北米輸送に特化して培ってきたノウハウ、そして日本人駐在員がタイムリーで情報を提供することで、トラブルをスピーディーに解決します。スタッフの8割が日本人なので、安心してご利用いただけます。

2. どんなサイズ・重量の貨物でもトラック手配できます



通常のドレイジからオーバーゲージカーゴの輸送に適したトレーラーまで、他社では引き受けることが難しい特殊貨物を得意としています。

3. サービスレベルの高いトラックを選定



長年にわたり、北米のあらゆる場所に配送を行ってきたGreat Luck Inc.は、トラックを起用するたびに評価し、品質の高いトラックのみを残して、常に競争させ厳選し、サービスレベルの上位トラックを起用しています。

4. 地域ごとに、全米のあらゆるローカルトラック会社と提携し競争力のある料金を提供



アメリカ航路の年間輸送実績は10,000Teu、業界トップクラスの取扱量を武器に、米系、日系運送会社を競争させ、競争力のある価格を提供しています。また、大手トラック会社のみならず、その地域、港ごとに地域に根ざしたローカルトラックと直接契約しております。

5. 海陸複合一貫輸送でワンストップ対応



内陸輸送だけでなく、海上輸送や通関業務等も一貫してハンドリングします。そうした対応がワンストップでのサービス提供を可能とし、お客様の手間をなくします。

6. クロスボーダー輸送、保税輸送はお任せください



カナダ、メキシコを縦断するクロスボーダー輸送を得意としています。関税立替、DDPの対応、自社のFTD(FREE TRADE ZONE)倉庫を利用した、FTZ倉庫保管での商品の一時保管も可能です。

取り扱い貨物(一例)

- ・自動車関連
- ・鉄鋼関連
- ・各種機械、機器
- ・化学品
- ・食品、飲料
- ・危険品
- ・工作機械
- ・衣料、アパレル

その他、さまざまな商品を運んでいます。
お気軽にお問い合わせください。

JAPAN TRUST

<https://www.jpntrust.co.jp/>

名古屋本社
〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内2-17-12
丸の内エステートビル9階

東京本社
〒108-0075
東京都港区港南 2-16-1
品川イーストワンタワー 7階

大阪支店
〒541-0054
大阪府大阪市中央区南本町4-3-16
ブランスタワー 御堂筋本町2706

Out Of Gauge cargo Specialist

オーバーゲージカーゴのスペシャリスト
(フラットラック・オープントップコンテナ)

ジャパントラストは、コンテナに収まらない規格外貨物輸送のスペシャリストです。

これまで、荷主様からいただいたあらゆる規格外貨物の海外輸送のご要望に応じてまいりました。

世界中の船会社のスペースを確保し、北米・アジア・ヨーロッパ各地への内陸輸送、据付までを承ります。

「貨物のサイズが大きすぎて目的地へ輸送できない」「必要なスペースをどうしても確保できない」

「今よりも安い運賃で、運べないか」「船の急な変更に対応できる船社はないか」

「フラットラック・オープントップコンテナを快く受けてくれる、特殊コンテナ(フラットラック・オープントップコンテナ)

専門フォワーダーはいないか」「スムーズにオーバーゲージのスペースを提供してくれないか」

オーバーゲージ(フラットラック・オープントップコンテナ)でお悩みの担当者様は、ジャパントラストへお気軽にご相談ください。

導入事例

株式会社ジェイテクト(旧 豊田工機株式会社)様 コンテナ積み(CY-CYベース)



三菱重工業株式会社様 BREAK BULK 積み



実績企業

【工作機械】

コマツNTC(株)(旧:日平トヤマ)、DMG森精機株式会社、
オークマ(株)、キタムラ機械(株)、ヤマザキマザックトレーディング(株)、
中村留精密工業(株)、(株)ジェイテクト(旧豊田工機)、
(株)キラコーポレーション、(株)アマダ、石川島建機(株)、
(株)松浦機械製作所、(株)滝澤鉄工所、三菱重工業(株)、
東芝機械(株)、大阪機工(株)

サービスメニュー

世界中への輸出輸入

内陸輸送・据付

世界中へのドアデリバリー

三国間輸送

DDP

保管

1. 世界中へのオーバーゲージ輸送に対応。
2. フラットラック・オープントップコンテナの手配、リース。
3. コンテナ船、在来線のスペース確保。

海外納入実績工場



ルノーフランス / CLEON工場
ルノーブラジル / PARANAGUA工場
ルノース페인 / VALLADOLID工場



HONDA

ホンダ米国 / ANNA工場ヘドアデリバリー工場 他

JAPAN TRUST

<https://www.jpntrust.co.jp/>

名古屋本社

〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内2-17-12
丸の内エステートビル9階

東京本社

〒108-0075
東京都港区港南 2-16-1
品川イーストワンタワー 7階

大阪支店

〒541-0054
大阪府大阪市中央区南本町4-3-16
プラスタワー御堂筋本町2706

Mexico Service

メキシコ サービス

多くの企業のメキシコへの進出が目立つ中で、お客様に合った独自のルート開拓、積み地・揚げ地でのアシストサービス、輸送コストの削減提案を行っております。

また、メキシコ向けのサービスを持っている全てキャリアと独自で交渉を行っており、安価な運賃獲得、スペース確保、FREETIME延長の交渉、その他オーダーに応じた交渉。

サービス紹介

海上輸送(FCL,OOG,LCL)／航空輸送

- ・日本及び世界各国発 ～ メキシコ向け
- ・メキシコ発 ～ 日本及び世界各国向け

メキシコ国内手配

- ・メキシコ全土への鉄道・トラック輸送
- ・DDP
- ・倉庫、調達輸送

その他サービス

- ・米国 ～ メキシコ 2国間 鉄道／トラックによる輸送



メキシコの輸入事情

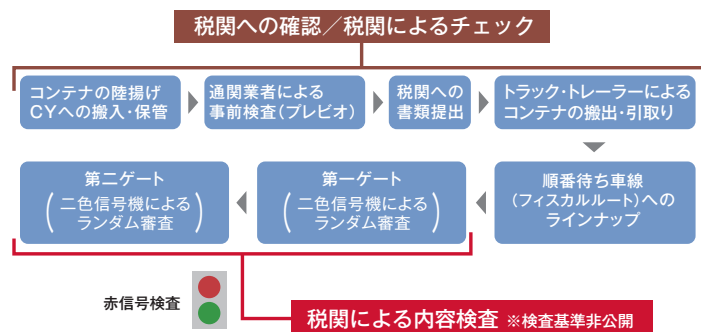
MANZANILLO港を例に取りますと、現在輸入貨物の通関には通常5-7日間ほどを要しております。

また、米国同様にメキシコにも24時間ルール(AMS)が存在します。申請のルールが守られない場合は高額なペナルティが存在します。

メキシコでの輸入の流れ

本船より荷卸し CY搬入	およそ1日
プレビオ (通関事前検査)	2～3日 プレビオ専用CYにて実施(シール開封後検査)、その後「通関業者コンテナシール」を施す ↓ 申告書類(ペディメント)を税関へ提出、関税を納付
通関本検査	2～3日 X線検査が行われ、ゲートに設置された信号機によって二つのランダムチェックが入ります。 ※検査基準は完全に非公開となっております。 赤信号の場合は開封検査が実施されます。

輸入コンテナの通関・搬出までのフロー



全て貨物が港で通関手続が実施されるわけではなく、内陸ヘトランジットを行い保税地域で通関手続を行うことが可能。

営業事務所

ジャバントラスト メキシコ営業事務所



JAPAN TRUST REPRESENTATIVE MEXICO SALES OFFICE
(HANKYU HANSHIN EXPRESS México S.A.deC.V.内)
Bodega T ubicada en Circuito Santa Fe No. 189, Parque Industrial
"Santa Fe III" del Municipio de Silao de la Victoria, Guanajuato C.P. 36275
TEL:+52 (472) 748 9402

実績企業

岡谷鋼機(株)、DMG森精機(株)、大同工業(株)、片山工業(株)、(株)滝澤鉄工所、(株)リケン、芦森工業(株)、第一実業(株)、富士機工(株)、(株)タチエス、(株)トクシン、(株)コーシンインテックス、米沢工機(株)、(株)山善、住友重機械工業(株)、興和(株)、(株)小松製作所、曙プレーキ工業(株)、鬼怒川ゴム工業(株)、田島スチール(株)、オリイメック(株)、(株)ナチ常盤、三菱電機(株)、(株)メタルワン、本田技研工業(株)、山九(株)、鈴与(株)、日本梱包運輸倉庫(株)、ニッコンホールディングス(株)、三井倉庫(株)、丸全昭和運輸(株)他多数

パートナー

お客様の輸送に最適なパートナーを選択いたします。

日系



米国系



メキシコ系



Brazil Service

ブラジル サービス

元々日本とは繋がりが深い国であり、今も多くの日本人が住んでおり、多くの日系企業も進出しております。
しかし、経済は過去より不安定であり、市場も大きく変動する特徴を持っております。物流リスク、コストが非常に高く、
安定的な物流を行うには十分なサポート体制を現地と構築する必要があります。現在、ジャパントラストはサンパウロ市内に
営業事務所を設立し、現地での問合せ窓口をはじめ、お客様の貨物に対するあらゆるサポートが行える体制を
築き上げております。ブラジル向けのサービスを持っている全てキャリアと独自で交渉を行っており、
安価な運賃獲得、スペース確保、FREETIME延長の交渉、その他オーダーに応じた交渉を行うことが可能でございます。

サービス紹介

海上輸送 (FCL, OOG, LCL) / 航空輸送

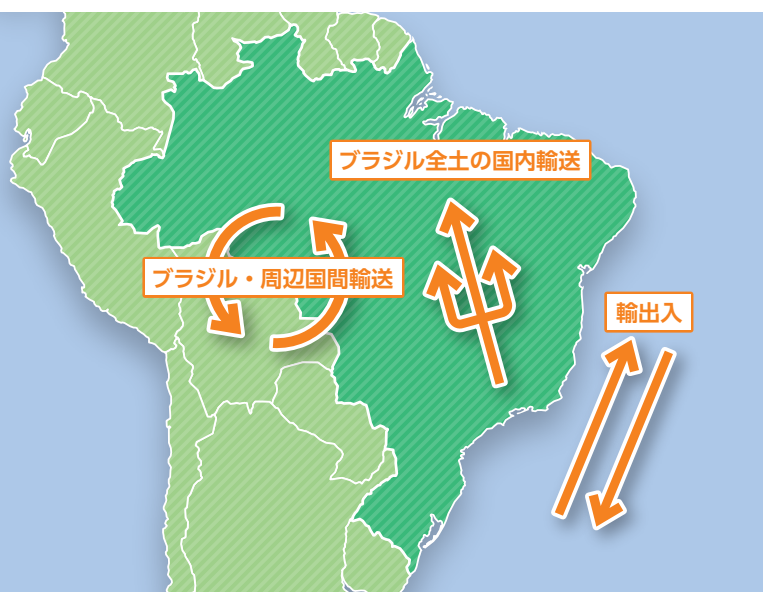
- ・日本及び世界各国発 ~ ブラジル向け
- ・ブラジル発 ~ 日本及び世界各国向け

ブラジル国内手配

- ・ブラジル全土への鉄道・トラック輸送
- ・倉庫、調達輸送

その他サービス

- ・ブラジルからの隣国(および隣国からブラジル)への越境輸送手配



営業事務所

ジャパントラスト ブラジル営業事務所

JAPAN TRUST REPRESENTATIVE SALES OFFICE
(SUZAN BRAZIL LOGISTICA LTDA.内)
R. PORTUGAL FREIXO, 242
ED. IMPERIAL OFFICE CONJ. 83
SUZANO - SAO PAULO - CEP 08674-170
TEL: (11)4744-5902 FAX: (11)4759-5324

パートナー

お客様の輸送に最適なパートナーを選択いたします。

ブラジル系

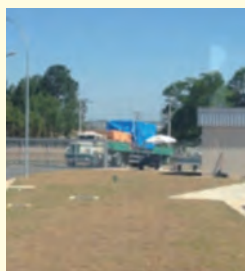


実績企業

ヤマザキマザック(株)、DMG森精機株式会社、
(株)ジェイテクト、(株)プリジストン、ブラジルキリン、
本田技研工業(株)、鈴与(株)、他多数

ブラジル向けオーバージーカーゴ導入事例実績

株式会社 ジェイテクト (旧 豊田工機株式会社)様



ジェイテクト社は国内有数の
工作機械、自動車部品
メーカーです。
10数年にわたり、設備の輸
出関係を全てジャパントラ
ストで行っている。
写真はジャパントラストの
手配でブラジル支店へ海を
渡り、納入された荷物です。

India Service

インド サービス

インドの海岸線は7,500キロメートルにも及び、200以上の港が稼働しております。現在、インドの貨物の20%はコンテナによって輸送されています。過去10年間のインドの経済成長は輸出の増加を促進し、その結果、コンテナ化のレベルも向上いたしました。インドには19のコンテナ港があり、そのうち9つは西海岸沿いに、10は東海岸沿いに位置しています。これらのコンテナ港の中で、ナバシェバ港(ムンバイ港)、チェンナイ港、コルカタ港が国際貿易の中心となっております。

インドのコンテナターミナルは毎年6.5%の成長率を記録しており、2025年までに2,500万TEUの容量を達成する可能性もございます。内陸の交通インフラは整備が進められているものの、物流の効率性を高めるため、さらなるインフラ改善も進められております。

サービス紹介

海上輸送 (FCL, OOG, LCL) / 航空輸送

- ・日本及び世界各国発 ~ インド向け
- ・インド発 ~ 日本及び世界各国向け

インド国内手配

- ・インド全土への鉄道・トラック輸送
- ・倉庫、調達輸送

その他サービス

- ・インドからの隣国(及び隣国からインド)への越境輸送手配

営業事務所

名古屋本社

〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内2-17-12 丸の内エーステートビル9階

東京本社

〒108-0075
東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー 7階

大阪支店

〒541-0054
大阪府大阪市中央区南本町4-3-16 ブランズタワー御堂筋本町2706

パートナー

お客様の輸送に最適なパートナーを選択いたします。

SWARAG
GROUP



実績企業

ジェイテクト株式会社、神和汽船株式会社、
中越運送株式会社、シチズンマシナリー株式会社、鈴与株式会社、など

JAPAN TRUST

<https://www.jpntrust.co.jp/>

名古屋本社

〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内2-17-12
丸の内エーステートビル9階

東京本社

〒108-0075
東京都港区港南 2-16-1
品川イーストワンタワー 7階

大阪支店

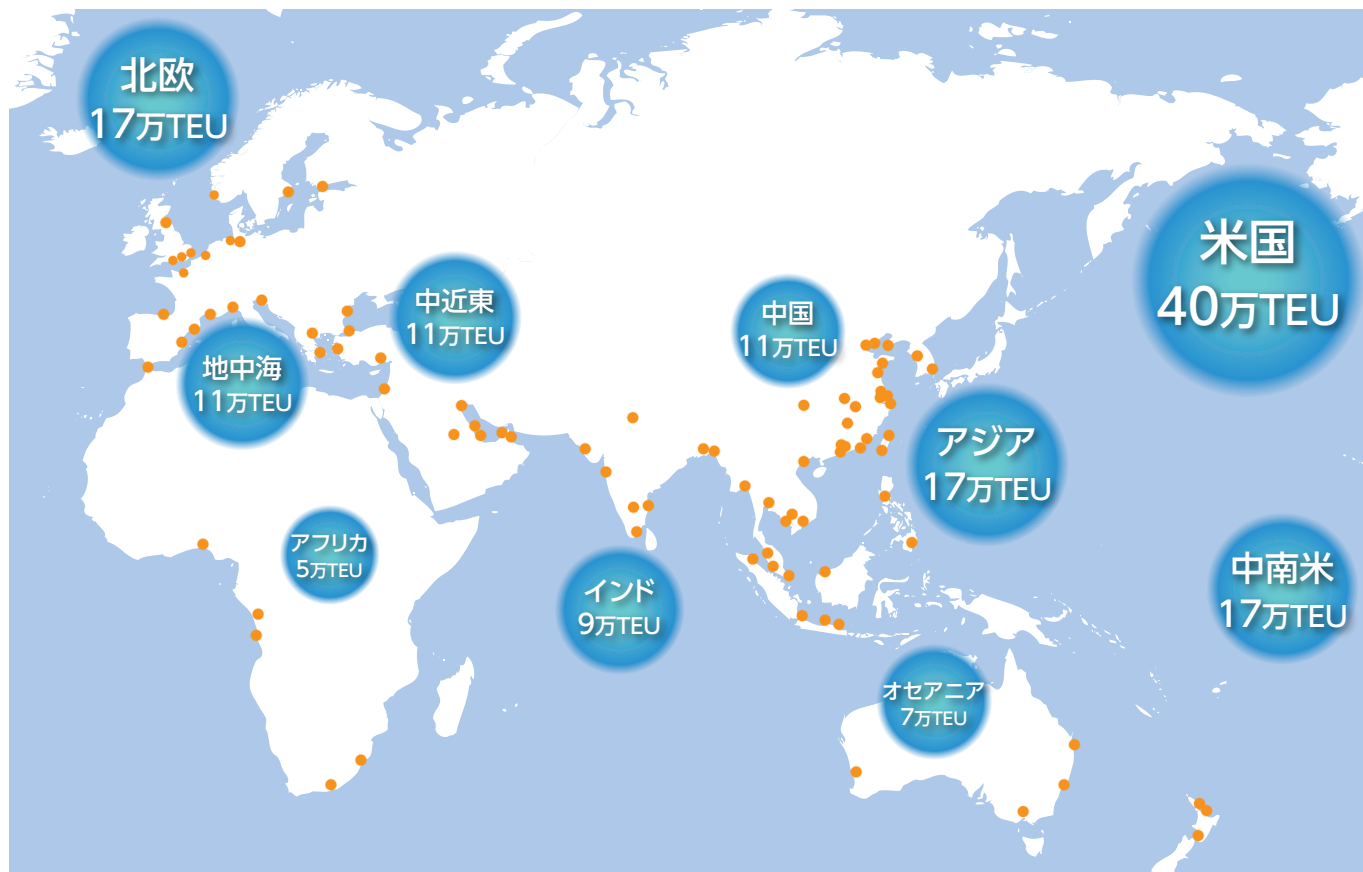
〒541-0054
大阪府大阪市中央区南本町4-3-16
ブランズタワー御堂筋本町2706

FCL WORLDWIDE SERVICE

全世界向けFCL海上輸送サービス

● 弊社過去25年実績

● 弊社輸送実績PORT



ポイント
1

ジャパントラストは北中南米だけじゃない

米大陸以外へのFCL輸送にも長けています。
全世界で年間約5万TEUを扱うことで、バーゲニングパワーを持ち、
同業者を含めたお客様の海上輸送コスト削減にもご協力いたします。

ポイント
2

各国に2、3社以上のパートナー

世界中に100社以上のネットワークを構築しています。
ローカル・日系両方の代理店を設けており、全て20年以上のお取引引きがある信頼のおけるパートナーです。
日本語対応可能な代理店もあり、現地での日本人同士のやりとりを実現します。

ポイント
3

各国への内陸輸送まで承ります

ローカルフォワーダーのネットワークを用いて、DOORまでの手配も可能です。
海上からDOORまでを一貫でご依頼いただくことで、
お客様の輸送コストと業務上の手間をまとめて解消します。

 JAPAN TRUST

<https://www.jpntrust.co.jp/>

名古屋本社

〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内2-17-12
丸の内エステートビル9階

東京本社

〒108-0075
東京都港区港南 2-16-1
品川イーストワンタワー 7階

大阪支店

〒541-0054
大阪府大阪市中央区南本町4-3-16
プランスタワー御堂筋本町2706

SHIPPING SERVICE

三国間輸送

アジアと北米・南米大陸を結ぶ

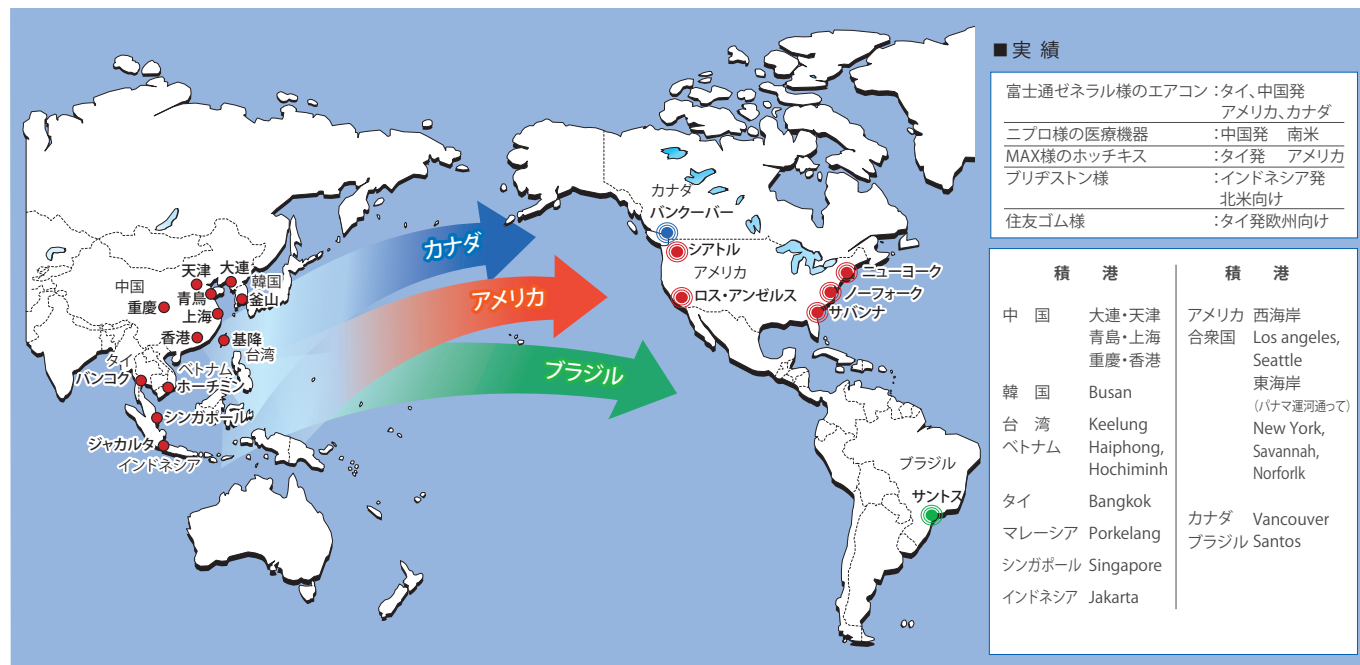
製造業の海外生産シフトに対応するため、積み地側の国、地域で有力な海外ローカルNVOCCと共同で独自ルート開拓と輸送コスト削減の研究開発、キャリアとの交渉を行っています。

三国間輸送ネットワーク

貿易取引では、確実かつ円滑に商品の代金を回収することが重要です。特に三国間貿易では、その3カ国に支店もしくは代理店が必要となり、仲介者が確実に書類（商品）の流れをコントロールしなければなりません。ジャパントラストは、独自の海外ネットワークを構築し、日系の他社に比べ有利なスペース確保・レート提示・海外アフターフォローなどで、日系荷主様の三国間貿易を強力にサポートします。スペースタイトな時期は、弊社にしかない独自の現地ローカルフォワードのルートで、キャリアからのスペース確保を確実にしています。

特に中国発アメリカ向けの三国間輸送は、弊社が最も得意とするところ。ジャパントラストに在籍する中国人スタッフは、細かい要求や運賃交渉を現地と電話で行っており、そのスピーディーな対応は、お客様からも大変ご好評をいただいております。

- ・各地域代理に日系荷主様に対応できる弊社専属スタッフを常駐。ブッキングの際の手続きをスムーズに行う
- ・アメリカサイドは、100%子会社に弊社日本人社員を常駐させて、緊急時などには迅速な対応を現地で行う



Reefer Container

ジャパントラストでは豊富な実績を元に
全世界向け**REEFER CONTAINER**サービスも展開しております。

REEFER CONTAINER (リーファーコンテナ) とは？

REEFER CONTAINERは、冷凍・冷蔵貨物の輸送に使用される特殊コンテナのことで、"DRY CONTAINER"に対して、一定の温度管理が必要な果物・野菜・肉・魚介類などの生鮮食品、フィルム・医薬品・化成品等の輸送に使用されます。冷凍機を内蔵し、断熱材で囲うことで、コンテナ内部の温度(-25℃~+25℃)に保ちます。また、超低温冷凍機能のマグナムリーファーや温度管理機能つきリーファーの手配も行っております。

取扱実績

食品関連

東京共同貿易株式会社、サーティーエイト株式会社、ひかり味噌株式会社、東海澱粉株式会社、
有限会社ミナトジャパン、(株)カワコーポレーション、サンライズ貿易株式、株式会社交洋、
吉川商事株式会社、株式会社アライアンスシーフーズ、株式会社True World Japan、
埼玉水産株式会社、KCセントラル貿易株式会社、北陽貿易株式会社、クラウン貿易株式会社

非危険化学品

信越化学工業株式会社、長瀬産業株式会社、
DIC株式会社

工業製品

株式会社ヨータイ、昭和電工株式会社



※写真はイメージです

REEFER AS DRYサービス

日本に滞留している多くのREEFER CONTAINERをDRY USEすることにより安価な輸送コストを提供することも得意としております。

NYK own&Lease Container as of Apr.2015

積付けの注意点①

コンテナ内寸

ただし、冷凍コンテナは断熱材及び冷凍機器が設けられているため、ドライコンテナの内寸より小さくなっています。したがって、貨物の寸法によっては積付け数量が減少する事があります。

	Minimum Inside Measurement(mm)			Minimum Door Opening(mm)	
	Length	Width	Height	Width	Height
20' Dry	5888	2350	2387	2340	2278
20' Ref	5446	2268	2260	2290	2264
40' Dry	12031	2352	2383	2340	2272
40' HCD	12031	2350	2692	2338	2585
40' HCR	11558	2284	2552	2286	2542

※ベンチレーター(換気口)が設けられているため、その開度を調整することにより、新鮮な空気を供給することも可能です。
※起用キャリアや機材によって寸法が多少異なる場合がございます。

積付けの注意点②

床構造

ドライコンテナと冷凍コンテナは、側壁及び床面で構造が大きく異なります。

▼ドライコンテナ: アビトンの木材



▼冷凍コンテナ: アルミニウム製のTフロア



積付けの注意点③

固縛方法

冷凍コンテナではドライコンテナで一般的に行われている、側壁のコルゲイトを利用する方法(写真左下)、及び根止め/矢止め(写真右下)による固縛方法ができません。



内陸輸送サービス

「北米,MLB,IPI輸送」についても一部取り扱いを行っておりますので各営業にお問い合わせください。

特集

インタビュー

同業他社とのタイアップを徹底した “敵を作らない”無敵の経営

ジャパントラストは名古屋に本社を置く独立系フォワーダーだ。1995年の創業以来、北米発着コンテナ貨物輸送と全米世界向けオーバーゲージ貨物で強みを持つ。同社の経営者社長は足元の経営環境や独立系ならではの強みなどについてインタビューした。社長は同業他社と得意・不得意な貨物を融通し合うことで「(地方だらけの)無敵の経営を徹底している」と話す。(取材日：3月13日)



ジャパントラスト株式会社 代表取締役社長 菅 哲賢氏

事業の中核は北米発着コンテナ輸送と世界へのオーバーゲージ貨物輸送の2本柱

——貴社のこれまでの経歴をご説明ください。

菅 当社は1995年3月、名古屋で誕生しました。貿易会社(大手貿易)を経営する私の父、その会社と取引のあった某船会社系フォワーダー経験者2人、そして大手非鉄金属メーカーYKKに勤務していた私という4人で立ち上げました。私が21歳の時です。

当社が創業した1995年は、1月に阪神淡路大震災が発生し、4月に為替相場が1ドルあたり80円を割る超円高を記録した年です。そんな環境下、大手資本が入っていない独立系フォワーダーとして既存顧客ゼロの状態から事業をスタートしました。しかしメンバーの経験していた某船会社系フォワーダーが得意としていた北米発着コンテナ輸送に加えて、工作機械メーカーが多い中部地域の特性を生かしたオーバーゲージ貨物(大型貨物や重貨物、長大物など)輸送を中心に集客活動を

展開し、地道に新規顧客を獲得して今に至ります。拠点整備については1998年に東京支店を、2002年に米国ロサンゼルスに現地法人GREAT LUCK社をそれぞれ設置しています。社員数は約30人ですが、別に船会社やフォワーダー、乙種を継承した方やNVOCCが本業でない企業を集客代理店として契約し代行営業をしていただいています。社員同様大事なお客さまとして全面的に信頼して、仕入れ情報など経営資源を提供し、サポートいただいています。また、経営体制という意味では、私が2000年に社長に就任し、今年で21年目を迎えます。先ほど触れたように、貿易業を営む父の姿を見ながら育ってきたため、当社のお客様である荷主の立場も理解しながら最適な物流提案ができるのも強みです。

——現在の事業概況について教えてください。

菅 当社の事業の中核をなすのが、創業以来世界にわたる北米発着コンテナ輸送サービスと全米向けオーバーゲージ貨物輸送サービスです。これ

らの事業をベースに、全世界発着の海上輸送、アジア・中国・北米大陸を結ぶ三回船回送などを展開しています。

主力の2本柱を順番に説明します。まず、北米向けコンテナ輸送サービスですが、日本発・北米向けコンテナの年間輸送実績は2018年度で約1万3000TEUと、自社集計ですがフォワーダーのランキングで第4位くらいだと思います。当社は北米向けにコンテナ輸送を提供している全ての主要船社と輸送契約を結び、それぞれのお客様にとって最もコストメリットのあるソリューションを提供することが可能です。日本出し以外の三回船回送やドア・ツー・ドア輸送にも対応しています。

もう一つの柱、オーバーゲージ貨物輸送サービスに関しては、最もオーバーゲージの取扱量が多いと船会社から評価をいただいております。オーバーゲージコンテナやフラットラックコンテナといった特殊コンテナを利用することで、大型機械やコイル、設備プラントなど様々な形状の貨物の輸送に対応しています。在米船をチャーターすることも可能です。主要な船会社の貨物スペースを確保し、北米、アジア、欧州の各地向け輸送を行っています。

——足元の経営環境をどのように見えていますか。

菅 昨年の秋以降、主力の北米輸送とオーバーゲージ貨物ともに取扱量が減少しています。過去4年間のリーマン・ショック後の反動パルが

一段落したと見ており、楽観はしていません。パルが落ちることを見越して新規案件を獲得してきたため、(現在の反動も)織り込み済みです。

私は同じ案件・ビジネスは10年以上続かないと思っています。「今取り扱っている貨物は10年以内に消える」との思いで新規案件への営業活動を積極的に進めています。事実、10年前と今の客層を比べても半分以上は入れ替わっています。常に新規案件に対する営業活動を続けることで、貨物量減少、景気減速や今回の「コロナショック」などの外部要因の影響を最小限にとどめることができています。

我々はまだ米国マーケット全体の2%の貨物しか扱っていません。言い換えれば、残り98%分の巨大なビジネスチャンス(新規案件)がまだ存在しているということです。

物流同業者と協力関係を築き 敵を作らない経営を徹底

——ノンアセット独立系フォワーダーの強みとは、

菅 大きな強みが2つあると思っています。第一に「敵を作らない」地方だけの無敵の経営に徹底しています。当社は大手さんとは違い、完全にノンアセットで、倉庫などハードを一切保有していません。中立的な立場で全ての同業者とアプローチできます。北米向け取扱量の上位にランクインしているフォワーダーの中で、海上輸送に特化した独立系フォワーダーは当社のみです。同業者とは競合を避けて、下請けに徹しています。それにより、NVOCCが本業ではない乙種や他のフォワーダーは、当社の仕入れ力を使って、海上輸送サービスを確保し顧客に販売することができます。実際、当社の扱っている半分以上は、同業他社からのブッキングとなりました。

また、当社は海上輸送に特化して国内の、遠くのお客様から遠隔で国内作業の依頼があった場合は、普段仕事もあっている乙種にオーダーで委託しています。高品質なエアール、異業種や他社、遠隔などで同業他社とマッチングする



オーバーゲージ貨物を用いて船積みする様子

北米向けに多目的船定期チャーター

■ジャパントラスト、在米船は今年2回目

全世界のオーバーゲージ(OG)貨物や北米向けを主軸にするFCL(フルコンテナ)専門NVOCC、ジャパントラストは、コンテナ船以外の船舶のスペースチャーターを拡大している。10月、同社として初めて韓国・中国発の多目的船(MPP)の定期チャーターを開始する。多目的船の一部スペースを確保し、日本発貨物を韓国や中国経由で米ヒューストン向けに毎月輸送する計画だ。9月後半には、今年2回目の在米船チャーターも実行した。在米船のオンデッキ(甲板)のスペースを自社専用で借り受け、下関-米ロサンゼルス(LA)で輸送している。同社として初めて発注した自社/コンも完成した。日本発北米向け海上輸送では、スペース寬で新規貨物の営業を再開停止させるのを避けるため、同社はリスクを取って複数のチャーターに踏み出し、顧客に新たな輸送の選択肢を提供している。

日本発韓・中経由米向け 毎月輸送

海上コンテナ市況の混乱が長期化する中、特に北米航路はスペース逼迫が顕著で、新規貨物のスポット運賃は過去最高水準が続く。価格に関係なく新規のスペースが取れない状況にまでなっている。北米西岸発着ではコンテナ船の予約が過去最大の重数となり、運賃が激しく、本船スケジュールは大きく遅延。米国際のコンテナード(CY)からの搬出や内陸への鉄道運送も大幅に遅れている。北米向けを主軸とする同社は、あらゆる手段でスペースをかき集めている。1年以上かけて海外船社と交渉してきたことが功を奏し、韓国・中国-ヒューストン航路の多目的船のスペースの一部を同社が専用で借り受け、日本発貨物をコンテナ船で韓国や中国発に運び、積み替えてヒューストンに海上輸送。ヒューストンからトラ

ックなどに接続し、全米各地まで「ア-ドレリ」ル可能だ。韓国・中国経由の多目的船サービスは10月から毎月スケジュールで実施する。トランシップ便となるため、日本からヒューストンまでのリードタイム(LT)は計40-60日程度となるが、コンテナ船も港滞りやスケジュール遅延でLTが大幅に長くなる中、仕向地に届くまでより速い。韓国・中国発(日本より相対的に運賃の高い)現地の荷主との運賃競争になるが、それでも当社は(スペースを)定期的に仕替えてくれた。ヒューストン以外に、40フィートコンテナで1回に100本程度積むフッキングが求められる。LAやサンフランシスコなど、最近韓国や中国発のフォワーダーが受託したコンテナ貨物の輸送を増やしているという。運賃が高くなる船はこれまでなかったが、人脈をたぐって交渉を重ねてきた。同船はヒューストンまで毎週、満船だというのが、信頼を得たことで、自社の専用スペースを実現した。

菅 買収代表取締役社長は「コンテナ船でないスペースも何と確保するために動いてきた。韓国・中国発(日本より相対的に運賃の高い)現地の荷主との運賃競争になるが、それでも当社は(スペースを)定期的に仕替えてくれた。ヒューストン以外に、40フィートコンテナで1回に100本程度積むフッキングが求められる。LAやサンフランシスコなど、最近韓国や中国発のフォワーダーが受託したコンテナ貨物の輸送を増やしているという。運賃が高くなる船はこれまでなかったが、人脈をたぐって交渉を重ねてきた。同船はヒューストンまで毎週、満船だというのが、信頼を得たことで、自社の専用スペースを実現した。



コンテナ船向けに専用「JTC」を完成させた自社オリジナルの「JTCコンテナ」



今年2回目の在米船チャーターでオンデッキにコンテナを積み込んで輸送した

自社コンテナ完成、SOCで活用

空コンテナ不足も懸念している。多目的船に積むコンテナは、同社がSOC(ツッパース・オン・コンテナ)として調達する考えで、フッキング以前にコンテナ手配のオフアが必要になる。

SOCでの活用を前提に、同社が今夏前に発注した初の自社パンは完成し、名古屋港付近で保管している。中国の工場で整備し、「JAPAN TRUST」のロゴや連絡先などを印刷して納入。コンテナ番号に社名略称の「JTC」を冠した、自社オリジナルの「JTCコンテナ」だ。20フィート、40フィートハイキューブ各5本の計10本。コンテナ船とは、今年の日本発北米向けのSC(サービス・コントラクト)で、MQC(最良積荷保証)で前年比1.5倍の計1万5000TEUを契約している。そのうえで、このほか特定船社とは、船社のコンテナ手配ではなく、ジャパントラスト手配のSOCで受け取れることになった。新たな多目的船チャーターも含み、同社の「JTCコンテナ」をSOCとして活用、重要顧客に提供して、北米までフレイムなどで使用する考えだ。

初の自社コンテナで、積荷や荷役などのオペレーションのコントロールに手配がかわっているというが、環境の激変下で提供した顧客の支援につながる。世界に動く広告費」と

Mujin、積み付けパッケージ販売開始

知能ロボットコントローラを開発・販売するMujin(本社=東京都江東区、地味一社代表取締役CEO)は7日、「Mujin Robotパッケージ」とAGV(無人搬送車)、倉庫制御システム(WCS)による「Mujin Robot特

下関-LAでは在米船チャーター

今年2回目、同社として3回目の在米船チャーターは既に実行した。日本全国から集めたコンテナ貨物を下関で船積みし、LAに輸送している。在米船のオンデッキのスペースを借り受け、化学品などのドライコンテナ多数を積んだ。コンテナはSOCで同社が手配して提供した。9月21日に下関で荷役を終え、10月前半にLAに到着予定だ。3月末-4月後半に実施した今年1回目は、名古屋-米LAでの在米船チャーターでOG貨物が中心だったが、今回はコンテナ貨物を対象とした。

リフトオン・リフトオフ(LOLO)方式の荷役を行う在米船は、多目的船と同様、コンテナ船と違う海運(バス)に特化した。自船に搭載するラックラックで貨物を積み替える。LA-ロサンゼルス(LA)の港では、3月後半に同社コンテナ船の運賃が70%暴落し過去最大となったが、コンテナ船バースの運賃は回避できる。

このほか、6月に開始した優先的にスペース割り当てを、ほぼ100%保証する独自の「JTCプライオリティチャージ」が好評だ。同社のMQCの枠の中から優先的に割り当て、希

望者の要望が特内ならば、ほぼ100%の船積みを実現する。チャージ料金はFEU、TEU換算でコンテナ1本あたり2000円だ。

フォワーダーの北米向け新規貨物の営業には、スペース難の現状は直撃はかかっている。その中で同社は、複数のチャーターや自社のコンテナ整備にも踏み込んでサービスを多様化する。「リスクはある。ただ、運賃が高騰している。いたいたい運賃を原価に、新しいものにチャレンジして輸送の要望に応じられるようになりたい」と菅社長。「当社のウェブサイトはいたいたい大手荷主の問い合わせが、実際にフッキングに結び付いている。問い合わせは増える一方だ。(米発着の市況は)100年に1度のチャンス。いろいろなサービスを立ち上げて「ジャパントラスト」の名前を知ってもらい、将来に向けて今、活用を得られるよう努力したい」と話している。5本向け多目的船の定期チャーターは、米国際海運の労働契約更改で西岸海運のストライキの不安のある来年に向けても、重要視している見え方だ。

ジャパントラストは名古屋市中区に本社を置き、日本の従業員数30人、米国現地法人がLA本社とシカゴ、ニューヨークに支店を置くほか、メキシコとブラジルにも営業所を構える。米国法人は10人の体制でほとんどが日本人で、着地の外-ラック、鉄道運送と内陸までのオペレーション管理も自社展開する。

初の自社コンテナ、ホンダ向けに利用

■ジャパントラスト、米国に海上輸送

全世界のオーバージージ(OG)貨物や北米向けを主軸とするFCL(フルコンテナ)専門NVOCC、ジャパントラストが発表した自社「JTCコンテナ」の1本目が、本田技研工業(ホンダ)向けの海上輸送で利用された。博多港から本船に船積みし、昨年12月半ばに米国シアトル港に到着した。ジャパントラストは昨年初めて自社のオリジナルコンテナの新造に踏み切り、20フィート、40フィートハイキューブ各5本の計10本を完成した。このうち複数本を今回、ホンダ向けに活用した。

空コンテナ不足を受けて、顧客向けのSOC(シップ・オウニング・コンテナ)として活用すべく、昨年夏前に初の新造コンテナを発売した。中国の工場で製造し、「JAPAN TRUST」のロゴや連絡先などを壁面に記入。コンテナ番号に社名略字の「JTC」を刻した独自の「JTCコンテナ」として整備した。昨年秋までに完成し、名古屋港付近で保管している。

ホンダからの輸送受託は初めて。同社が北米向けスペースを探る中で、ジャパントラストのウェブサイトに関心したことがきっかけで、輸送が実現した。今回、「JTCコンテナ」複数本に自動車部品を積み込み、シアトル港でデバッキング後、トレーラーに積み替えて米国内の最終仕向け地に運んだ。

ジャパントラストの経営代表取締役社長は「自社のコンテナは、子どものような存在。大手の荷主によって

いただいたことだけでも光栄なこと。(初の利用で)1人立ちしたようので、これから世界中を回ってほしいと思う。今年もスペースがタイトな状況は続くだろう。残る自社コンテナの利用も進めながら、顧客に貢献していきたい」と話す。

北米航路は全航路の中でもスペースのひっ迫が激しく、輸送環境が難しくなっている。ジャパントラストは昨年、米ロサンゼルス向けに在米船のスペースチャーターを善と秋に2回実施した。さらに、昨年10月からは多目的船の定期チャーターも開始。韓国・中国-米ヒューストン航路の多目的船のスペースの一部を専用に着り受け、日本発貨物をコンテナ船で韓国や中国諸港に運び、積み替えてヒューストンに海上輸送。その後、全米各地までのドア・デリバリーを可能としている。

また、ジャパントラストは(本

社=大阪市中央区、井上裕元代表取締役社長)による日本発上海経由ロサンゼルス-ロングビーチ向け海上輸送サービスの代理店となり、ジャパントラストが同サービスを販売している。市況の混乱が続く中、アイデアを凝らし、キャリアや同業者とも密に連携しながら、さまざまな手法で輸送手段を確立。今年春に米国西海岸港の労使契約の本格化が迫る中で、「荷主のニーズに最大限応じられるよう努力していきたい」と(社長)とする。

ジャパントラストは名古屋市中区に本社を置き、日本の従業員数30人。米国現地法人がロサンゼルス本社とシカゴ、ニューヨークに支店を置くほか、メキシコとブラジルにも営業所を構える。米国法人は10人の体制でほとんどが日本人で、現地側のトラック、鉄道など内陸までのオペレーション管理も自社展開する。

海外労働派遣の仲介料、月賃金の半分以上

【NNA・ボトナ】ベトナムから労働者を海外派遣する際に仲介業者が徴収できる手数料の上限は、派遣期間12カ月以上の労働契約の賃金の0.5カ月分とするようになった。36カ月を超える場合は賃金の1.5カ月分が上限となる。昨年12月の労働・農林漁業・社会事業省通達21号(21/2021/TT-BLDTBXH)に基づくもの

で、過剰徴収に歯止めをかけるのが狙いだ。2月1日に施行される。8日付タフツ電子版が報じた。例外規定があり、台湾や韓国の沖合漁業・貨物船の乗組員や、マレーシア、ブルネオ、西アジア諸国の家事労働、タイや日本の全職種では、仲介手数料の上限が0.7とされた。派遣中の労働者の管理費用なども含めたサービス料の

上限については、日本への派遣では、派遣資格「技能実習生3号」および「特定技能」の場合は0.7と上限となり、「高度専門職」および「特定活動(建設・造船)」は派遣期間12カ月ごとに賃金0.7カ月分、36カ月間は2カ月分が上限となる。

3月在来船チャーターで「責任果たす」

■ジャパントラスト、年度内出荷受け2年連続

全世界のオーバージージ(OG)貨物や北米向けを主軸とするFCL(フルコンテナ)専門NVOCC、ジャパントラストは、名古屋-米ロサンゼルス(LA)で2年連続の在来船チャーターを行う。自船で荷役可能な在来船のスペース2000立方メートル程度を自社専用に戻す。同社の自社コンテナなどを活用するSOC(シップ・オウニング・コンテナ)でのFCL(フルコンテナ)やOG貨物などを輸送する。2月頭に船期が確定し、2月15日ごろまで集荷している。3月中に出荷予定で、荷主は年度内の影響が軽減し、同社は2021年から、ジェイテック向けなどの工作機械関連貨物を基本的なコンテナ船から在来船利用に切り替えた。在来船のチャーター費用は21年春の3倍にも高騰しているといわれ、負担は高額になるが、買荷買代取取締役社長は「(NVOCCとして)運ぶ義務、責任がある。リスクよりも(顧客との)信頼関係を優先している」と話す。

21年3月に行なったチャーターと同様に「リスクを在来船(LOLO)」と名付けた。今回は興材関連を輸送している5~6万重量トン級在来船のスペースを押さへ、リーファーや他船を離れ、作業機などをメインに想定している。

来週2月15日をパッキングの締め切りで想定しているが、スペースに空きがあればその先も受け付ける。本船は年度内の3月後半に名古屋を出発予定で、LAまでのリードタイムは約20日の見込み。米国内のドア・デリバリーによる「ア・ツードア」の一貫輸送や米国内保管などにも対応する。

船社の欠陥により、北米運航の日本発コンテナ船サービスの本船スペースは3月まで、LAでは最大半減する見通しだ。メーカーなどからの年度内出荷の需要がこれら高まっていくはずだが、年度内は既に枯渇していた21年より日本-LAのスペースがさらに減り、ロールオーバー(積み残し)による「船落し」貨物の増加が懸念されている。

本田技研工業社長室長は「1月から(週によって)日本-北米航路のコンテナ船のノーズピスが狭き。当社としてアジア・ラッシュも活用して対応している。前回の実施から新たなチャーター船の問い合わせは多か

い(社長)ためとする。

21年には、荷主にSOCとして提供するため、自社の専用コンテナ「JTCコンテナ」の発注に踏み切り、1本目を新製船となった本田技研工業(ホンダ)の北米向け輸送で活用した。また北米向けでは、韓国・中国発の多目的船(MPP)の定期チャーターや、同業との協業も巻き上げ、釜山、台北・ラッシュも開始した。優先的にスペース割当てをし、ほぼ100%保証する独自の「JTCプライオリティ・チャージ」を設定するなど、海上コンテナ輸送の混乱の中でもさまざまな新サービスの確立し、荷主のニーズに応えている。

北米西海岸の労使交渉が本格化し、4月以降も、在来船チャーターは「(船社と)交渉を続け、可能性があれば実行していきたい」(浜田社長)とし、22年も新たな取り組みを行っていく考え。

ジャパントラストは名古屋市中区に本社を置き、日本の従業員数30人。米国現地法人がLA本社とシカゴ、ニューヨークに支店を置くほか、メキシコとブラジルにも営業所を構える。米国法人は10人の体制でほとんどが日本人で、現地側のトラック、鉄道など内陸までのオペレーション管理も自社展開する。

混乱下で北米向け輸送に豊富な選択肢

■ジャパントラスト、顧客大幅拡大中

船便が取れない。コロナ禍で国際物流の混雑が続いている。最も本船スペースがひっ迫するのが、北米航路。この環境で長年の実績を背景にした豊富なスペース調達と安定した着実な輸送を実現し、顧客を大きく増やしているNVOCCがある。全世界のオーバージージ(OG)貨物や北米向けを主軸とするFCL(フルコンテナ)を専門とする、ジャパントラストだ。この間、実質的に北米向けの新規営業を停止する同業者も多い中、同社は新規顧客の引き合いを受け続け、新規のスポット貨物も、1本でも多く積めるよう対応している。武器は、交渉力と機動力。自社の強みを生かして立ち上げた、同社のさまざまな新サービスを紹介する。

■北米向けNVOCCトップ5の取扱量

【豊富な直航スペース】

まずはNVOCC屈指の日本発北米向けスペースの保有だ。2021年の日本発北米向けSC(サービス・コントラクト)で、ジャパントラストはMQC(最低積み荷保証)で前年比1.5倍の計1万5000TEUを契約した。日本発北米航路の本船に限られる一方、長期的に安定的なスペースを押さえたニーズが強まり、船社との交渉が難しくなった中で、オーシャン・ネットワーク・エクスプレス(ONE)など、全てのコンテナ船社とSCを結んだ。

同社の20年度のFCL取扱量は、日本発北米向け輸出が同じ計約1万5000TEUで過去最高。「日本発北米向けでは(フォワーダー・NVOCCの)トップ5に入る物量だろう」(買荷買代取取締役社長)。21年のMQCはこの実績とおりの結果となった。その後、現在まで同社にはBCO(実荷主)に加えて、ロールオーバー(積み残し)などを受けた同業者からのコ・ロードの要望が急増。継続して新規貨物に対応している。



チャンネル登録者数は6万人を超える物流・貿易系Youtuber、イーノさんと弊社代表の菅が対談を行いました。

<https://youtu.be/3IEPI1Rs6y8>



ジャパントラスト株式会社
元代表取締役社長

菅 哲賢 著作本

「最適物流の科学」

「最適物流」を豊富な経験とデータで分析



実際の取引事例を紹介しながら、物流・海運業の過去・現在・未来を明らかにすることで、「最適物流」とは何なのかを伝えます。併せて、海運業界の現状と当面の課題、将来的な「あるべき姿」についても言及。物流業以外の一般のビジネスマンや輸出入業務にたずさわる新入社員の教科書的な内容にもなっています。

書籍名 最適物流の科学

舞台は3億6106万平方km。海を駆け巡る「眠らない仕事」

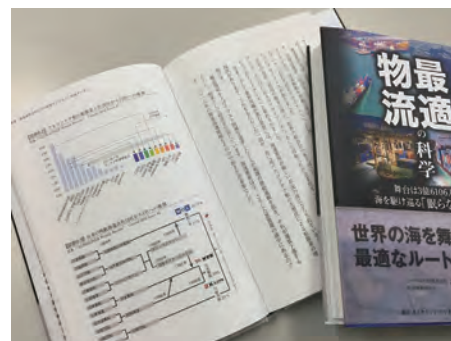
本書は船を持たない国際海運会社(NVOCC)・ジャパントラスト株式会社代表者が設立以来22年間、多くの企業から寄せられた多種多様な課題、マスメディアからは得ることができない海運業界の実態を徹底解説。

発行/ダイヤモンド・ビジネス企画

単行本/224ページ

定価/本体1,500円+税

発行年月/2017年12月



目次

- 序章 舞台は3億6106万km²。～海を駆け巡る「眠らない仕事」
- 第一章 物流の歴史、進化とともに歩んだ「海上輸送」～海運業とはいかなるビジネスなのか
- 第二章 船を持たない海上輸送のプロフェッショナルたち～国際物流で重要になるフォワーダーの果たす役割
- 第三章 荷主が知っておきたい海運会社の種別と特徴～物流の依頼で押さえておきたい三つの基準
- 第四章 海運会社の実力がわかる三つのポイント～イレギュラーな事態にはどう対応するか
- 第五章 一問一答。海運業への疑問に答えます～基礎編から応用的な物流依頼まで
- 終章 海運業界は時代の大海原をどのように航海すべきか～国の生命線を守れ!

作者経歴 菅 哲賢 (すが てつまさ)

1971年京都府生まれ。南山大学卒業後、YKK株式会社入社。貿易会社を経営する父親の影響を受け、1995年、24歳の時に脱サラして共同経営者として「船を持たない海運業者」(NVOCC) ジャパントラスト株式会社を設立。2000年、29歳の時に同社代表取締役社長に就任。2002年に米国現地法人Great Luck Inc.設立。

大手の資本が入っていない個人独資の海運業者として、創業当初は、既存顧客ゼロからスタート。初年度の取扱コンテナ量はほぼ0本。まったく知名度がない状態から、一社一社地道に新規顧客の開拓を続けた結果、2016年度

日本発北米向け取扱本数NVOCC世界ランキング6位(9627TEU)にまで成長させる。その過程で、荷主、乙仲(通関業者)、国内外の船会社、物流業者、フォワーダー、NVOCCと交わした名刺の数は、28,000枚以上にのぼる。また、大手外資系船会社の本国にある本社を定期的に歴訪し、世界各国の船会社の本社にも直接交渉するパイプを持っている。幼少期から貿易業を営む父親(荷主)の言動に慣れ親しんでいたため、荷主の立場をよく理解している。常に荷主の利益・利便性と輸送品質・安全性を最優先に考えてくれると、大手荷主からも評判となっている。趣味は、マジック、サーフィン、麻雀。

Corporate Philosophy

企業理念

経営理念

世界物流の発展に貢献し、
共に成長し、幸せを追求し続ける

キーワード

スピードと情報

弊社との長年の信頼関係を築いていただくための、根本となる弊社の最大の商品は「スピードと情報」です。その時々の変化による物流情報をリアルタイムに提供します。市況の変化が激しい海運業界の状況をお客様が把握し続けることは、膨大な時間と労力＝コストがかかります。全船会社との運賃交渉などの物流業務をアウトソーシングすることにより、時間の節約につながり、お客様の本来である御商売に専念していただきたく思います。海運業界のプロフェッショナルとして、その時期に合わせた最適物流を提案させていただきます。トラブルが発生したときには、現地の御社のお客様とのやりとりや問題解決は、弊社が窓口となって責任を持って対応させていただきます。必要であれば、現地に飛んで解決します。

少人数制

少数精鋭でフラットな組織で迅速な意思決定。見積りも金額、トラブル処理など、営業マンと経営者層がダイレクトにつながり一体となって、即断即決。管理職、人事、総務など管理間接部門は極力アウトソーシングし、お客様へ最適物流を提案する営業活動に、社長以下役員も含めた人的資源を集中させております。少人数制ならではのローコストによる、高品質、低価格を実現できました。リーズナブルな料金設定で、安心してご利用いただいております。社内のバックアップ態勢は、書類情報や顧客情報のデジタル化により万全です。

ノンアセット型

倉庫、在庫、トラック、船舶などハードを一切保有せず、お客様のご要望に合わせてその都度、最適なファシリティとルート、起用船社を提案します。有力な協力運送会社との業者間価格による、お客様一社だけの物量では仕入れられない格安な料金設定が可能です。

心のこもったおもてなし

弊社は、ビジネスだけを求めるのではなく、お客様一人ひとりと、心と心が通い合い、思いと思いが通じ合う調和のとれた人間関係を築くことを最終の目的とします。社員一同、「心のこもったおもてなし」の精神で、お客様から愛される会社を目指し、物流を通して感動を与えるサービスを提供することを目標としております。

得意なサービス

売り上げの7割を占める北米航路は全船社とSCを締結し、北米FCL専門NVOCCとして、荷主様の代わりに全船社との交渉を年間通して行っております。期中でのGRI(運賃値上げ)、船社変更、航路改編、MQC未消化のリスクを弊社が肩代わりし、荷主様の物流部門として機能します。得意の全世界へのオーバーゲージカーゴに関しては、特殊コンテナ(フラット、オープントップ)を潤沢に、確保しております。また、在来船社も競争力のある運賃を提示できます。すべての在来船社、コンテナ船社との長年の信頼関係により、大量の貨物でもスペース問題は発生しません。

ニュートラルな立場

どの業者とも資本関係がない全くニュートラルな立場です。弊社よりいいサービスであれば、同業他社へもご紹介させていただき、お客様の立場に立つてベストなレート、ルートを提案させていただきます。

お取引企業

弊社はすべての方と取引をしたいわけではありません。上記の企業理念をご理解いただき、ある一定の社内基準に見合う企業様のみを対象に心のこもったサービスを提供し、調和のとれた末長いお付き合いをさせていただきます。

企業紹介ビデオ

弊社は、お取引様は言うに及ばず、すべてのステークホルダーにご理解と共感を得る努力を惜しみません。よりわかりやすく、より具体的に、弊社の企業風土やサービスをお伝えるために、種類の異なる3つの映像を活用しています。

弊社HP or スマートフォンでバーコードを読み込んでいただいでご覧いただけます

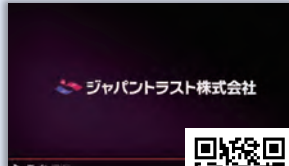
サービスを知りたい方へ



企業理念を知りたい方へ



全体像を知りたい方へ



 JAPAN TRUST

<https://www.jpntrust.co.jp/>

名古屋本社

〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内2-17-12
丸の内エステートビル9階

東京本社

〒108-0075
東京都港区港南 2-16-1
品川イーストワンタワー 7階

大阪支店

〒541-0054
大阪府大阪市中央区南本町4-3-16
プランスタワー御堂筋本町2706

会社概要

概要

社名 ジャパントラスト株式会社

本社所在地 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2-17-12
丸の内エステートビル9階

支店・現地法人所在地 東京本社
〒108-0075 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー 7階

大阪支店
〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町4-3-16
プランズタワー 御堂筋本町2706

アメリカ現地法人
Great Luck Inc.
1861 WESTERN WAY, TORRANCE, CA 90501
TEL: 310-984-1340

メキシコ営業事務所
JAPAN TRUST REPRESENTATIVE MEXICO SALES OFFICE
(HANKYU HANSHIN EXPRESS México S. A. de C.V.内)
Bodega T ubicada en Circuito Santa Fe No. 189,
Parque Industrial "Santa Fe III" del Municipio de
Silao de la Victoria, Guanajuato C.P. 36275
TEL : +52 (472) 748 9402

ブラジル営業事務所
JAPAN TRUST REPRESENTATIVE SALES OFFICE
(SUZAN BRAZIL LOGISTICA LTDA.内)
R. PORTUGAL FREIXO, 242
ED. IMPERIAL OFFICE CONJ. 83
SUZANO - SAO PAULO - CEP 08674-170
TEL: (11)4744-5902 FAX: (11)4759-5324

設立 1995年3月28日

資本金 20,000,000円

代表取締役 神谷 隆

事業内容 第一種利用運送事業
第二種利用運送事業
NVOCC (NON VESSEL OPERATING COMMON CARRIER)
Eastern Car Liner 集荷協力店
BEN LINE 集荷副代理店
国際航空貨物代理店業

従業員 25名 (2024年)

H P <https://www.jpntrust.co.jp>

主要取引銀行 三菱UFJ銀行

加入団体 JIFFA/一般社団法人 国際フレイトフォワードーズ協会 (加入)

沿革

- 1995 ジャパントラスト株式会社 設立。
- 1996 北米NVOCC最大手のOCEAN WORLD LINES, INC.と代理店契約を締結。
- 1997 東京支店を設立。
- 1998 資本金を2000万円に増資。
- 2000 菅哲賢が代表取締役社長に就任。
- 2002 米国Los Angelesに現地法人GREAT LUCK INC.を設立。
- 2007 米国Chicagoに現地法人GREAT LUCK INC. CHICAGO支店を設立。

- 2009 インドに現地法人JTC LINEを設立。
- 2010 米国New Yorkに現地法人GREAT LUCK INC. New York支店を設立。
- 2015 ジャパントラスト株式会社 設立20周年。
ブラジル営業事務所開設。
- 2016 BEN LINE 集荷副代理店 任命。
- 2017 メキシコ営業事務所開設。
- 2023 代表取締役交代 神谷 隆が代表取締役に就任。

取引実績

自動車関連

アイシン精機(株)、アイシン高丘(株)、アイシンAW(株)、曙ブレーキ工業(株)、芦森工業(株)、(株)石原製作所、(株)今仙電機製作所、エンケイ(株)、共和レザー(株)、(株)クラベ、シミス工業(株)、信越電装(株)、(株)ソミック石川、大同工業(株)、(株)東海理化、トーハツ株式会社、(株)豊田自動織機、日信工業(株)、(株)ヒサダ、(株)フライングスター、本田技研工業(株)、マツダ(株)、武蔵精密工業(株)、(株)ユタカ技研、ユタカ工業(株)、(株)ユニバンス、MAHLE ELECTRIC DRIVES JAPAN社

機械

オリオン機械(株)、(株)キトー、(株)小森コーポレーション、(株)島津製作所、蛇の目ミシン工業(株)、庄田鉄工(株)、(株)スギヤス、住友重機械工業(株)、(株)太平製作所、(株)竹内製作所、(株)ツガミ、東芝三菱電機産業システム(株)、フナック(株)、北越工業(株)、(株)前川製作所、(株)マキタ、(株)ミマキエンジニアリング、(株)ユージン精機、(株)ワキタ

工作機械

アイダエンジニアリング(株)、(株)アマダ、石川島建機(株)、オークマ(株)、カタムラ機械(株)、(株)キラコーポレーション、コマツNTC(株)、(株)ジェイテクト、(株)滝澤鉄工所、東芝機械(株)、中村留精機工業(株)、平田機工(株)、(株)松浦機械製作所、三菱重工業(株)、ヤマザキマザックレーディング(株)、DMG森精機(株)、(株)FUJI, OKK(株)

化学

(株)アイセロ、アロカネシヨウ(株)、アース製薬(株)、石原産業(株)、(株)イノアックインターナショナル、上野製薬(株)、宇部興産(株)、エステー(株)、オリエント化学工業(株)、(株)カネカ、化薬スーリオン(株)、関東化学(株)、協和ファーマケミカル(株)、(株)クラレ、信越化学工業(株)、ジャパンファインプロダクツ(株)、デンカ(株)、テクノUMG(株)、デュボン(株)、日揮ユニバーサル(株)、ニッタ・ハース(株)、(株)日本触媒、日本精錬(株)、日本バイリーン(株)、富士シリシア化学(株)、ホーユー(株)、(株)武蔵野化学研究所、JNC(株)、JSR(株)、JXANCI(株)、KHネオカム(株)、UBE(株)

タイヤ

住友ゴム工業(株)、(株)ブリヂストン、横浜ゴム(株)、TOYO TIRE(株)

電気機器

(株)エルモ社、(株)オーディオテクニカ、カシオ計算機(株)、(株)富士通ゼネラル、マクセル(株)、三菱電機(株)、ライトボーイ(株)、リンナイ株式会社、FDK株式会社、JUKI(株)

鉄鋼

(株)置田鉄工所、山陽特殊製鋼(株)、新日鐵住金(株)、日本電工(株)、(株)メタルワン特殊鋼

食品

(株)あいや、黄桜(株)、キリンビール(株)、(株)ギンビス、月桂冠(株)、(株)サンクゼール、サンジルス醸造(株)、サントリーホールディングス(株)、大勝フーズ(株)、宝酒造(株)、竹本油脂(株)、(株)デルタインターナショナル、日清食品ホールディングス、日本デルモンテ(株)、ひかり味噌(株)、マリンフーズ(株)、マルサンアイ(株)、ヤマサ醤油(株)、(株)ヨックモックホールディングス、MCFoodsベジャリティーズ(株)、(株)MISAコーポレーション、Wismettac foods社

商社

旭化成アドバンス(株)、伊藤忠ケミカルフロンティア(株)、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)、岡谷鋼機(株)、(株)海神貿易、極東貿易(株)、クラウン貿易(株)、(株)交洋、興和(株)、神鋼商事(株)、双日(株)、大同興業(株)、大徳商事(有)、田中監(株)、(株)長榮、蝶理(株)、東京共同貿易(株)、豊田通商(株)、豊通プラケム(株)、東レインターナショナル(株)、パイオニア貿易(株)、阪和興業(株)、福水商事(株)、(株)ホンダレーディング、マリンフーズ(株)、丸紅(株)、丸紅テクマテックス(株)、三井物産(株)、三菱商事(株)、三菱商事プラスチック(株)、三菱商事RtMジャパン(株)、(株)メタルワン、CBC(株)、(株)CPフーズ、JFE商事(株)、SMB建材(株)

物流

伊勢湾海運(株)、(株)上組、(株)エクセディ物流、川西倉庫(株)、義勇海運(株)、鴻池運輸(株)、(株)後藤回漕店、コマツ物流(株)、サッポログループ物流(株)、山丸(株)、(株)ジェイ・シートランス、滋澤倉庫(株)、(株)ジャパンエクスプレス、ジャパンパラインズ(株)、商船三井ロジスティクス(株)、神崎物流(株)、鈴与(株)、住商グローバルロジスティクス(株)、西武運輸(株)、センコー(株)、高末(株)、東芝ロジスティクス(株)、東洋トランス(株)、豊通物流(株)、中谷興運(株)、西日本鉄道(株)、ニッコンホールディングス(株)、(株)日新、日本物流(株)、日鉄物流(株)、日東物流(株)、日本梱包運輸倉庫(株)、日本紙運輸倉庫(株)、日本通運(株)、(株)阪急阪神エクスプレス、富士物流(株)、丸全昭和運輸(株)、丸紅ロジスティクス(株)、名港海運(株)、名鉄観光サービス(株)、三井倉庫(株)、三井倉庫エクスプレス(株)、ヤマトグローバルロジスティクスジャパン(株)、郵船ロジスティクス(株)、(株)ユーティアーアイ、DHLグローバルフォワーディングジャパン(株)、(株)KSAインターナショナル、NKインターナショナル(株)、SGHグローバルジャパン(株)

その他

イビデン(株)、オカモト(株)、関西ペイント(株)、木田精工(株)、グンゼ(株)、(株)ジーシー、(株)セリア、セイラー万年筆(株)、(株)第一化成、ダイキン工業(株)、(株)大創産業、(株)鶴見製作所、帝人(株)、天間特殊紙(株)、東海カーボン(株)、東洋化学工業(株)、東洋グリーン(株)、凸版印刷(株)、(株)巴川製紙所、(株)ニトリ、日本ガイシ(株)、日本ストロー(株)、日本パレットレンタル(株)、日本メナード化粧品(株)、日本理化学工業(株)、(株)ノリツ、萩原エレクトロニクス(株)、(株)バルテック、(株)日立パワーデバイス、フジコピアン(株)、マクセル(株)、(株)メイトド、(株)メタルドゥ、ヤンマーグローバルエクスポート(株)、ユニチカ(株)、リンナイ(株)、(株)リードパロソ、ロジスネクストユニキャリア(株)、(株)ワコール、AGC(株)、KJ特殊紙(株)

Overview

Company name	Japan Trust Co. Ltd.
Headquarters	Nagoya Head Office 9th floor, Marunouchi Estate Building, 2-17-12, Marunouchi, Naka-ku, Nagoya, Aichi 460-0002 Japan
Branch Local corporation location	Tokyo Head Office 7th Floor, Shinagawa East One Tower 2-16-1, Konan, Minato-ku, Tokyo 108-0075 Japan Osaka Branch 2706 Branz Tower, 4-3-16 Minamihonmachi, Chuo-Ku, Osaka 541-0054 Japan
USA	Great Luck Inc. Los Angeles Head Office 1861 WESTERN WAY, TORRANCE, CA 90501 TEL: 310-984-1340
MEXICO	MEXICO REPRESENTATIVE SALES OFFICE (HANKYU HANSHIN EXPRESS México S.A.deC.V.) Bodega T ubicada en Circuito Santa Fe No. 189, Parque Industrial "Santa Fe III" del Municipio de Silao de la Victoria, Guanajuato C.P. 36275 TEL : +52 (472) 748 9402
BRAZIL	BRAZIL REPRESENTATIVE SALES OFFICE (SUZAN BRAZIL LOGISTICA LTDA.) R. PORTUGAL FREIXO, 242 ED. IMPERIAL OFFICE CONJ. 83 SUZANO - SAO PAULO - CEP 08674-170 TEL: (11)4744-5902 FAX: (11)4759-5324

Establishment	March 28, 1995
Capital	20,000,000yen
President & CEO	Takashi Kamiya
Business	Type 1 forwarder (using overseas vessels) Type 2 forwarder (using overseas vessels) NVOCC (NON VESSEL OPERATING COMMON CARRIER) Eastern Car Liner Collection cooperation shop Nominated sub-agency of BenLine International air cargo agency business
employee	25 people (2024)
HP	https://www.jpntrust.co.jp
Main Bank	Bank of Mitsubishi UFJ, Ltd.
Join organizations	JIFFA / Japan International Freight Forwarders Association Inc. (subscription)

History

- 1995 JAPAN TRUST Co., Ltd. Established
- 1996 Signed an agency agreement with OCEAN WORLD LINES, INC., one of the largest NVOCCs in North America. Commenced handling of cargo from North America.
- 1997 Tokyo branch opened.
- 1998 Capital increased to 20 million yen.
- 2000 Tetsumasa Suga became the president at the regular shareholders' meeting and board meeting.
- 2002 Great Luck Inc. established in Los Angeles as an overseas subsidiary.

- 2007 Great Luck Inc. opened Chicago office.
- 2009 Established JTC LINE in India.
- 2010 Great Luck Inc. opened New York office.
- 2015 20th anniversary of JAPAN TRUST Co. Brazil (SAO PAULO) Sales office opened.
- 2016 Nominated sub-agency of BenLine.
- 2017 Mexico Sales office opened.
- 2023 Takashi Kamiya became the president.

Trading performance

AUTOMOBILE PARTS

Aisin Takaoka Co., Ltd. / Aisin Seiki Co., Ltd. / AISIN AW CO., LTD. / Akebono Brake Industry Co., Ltd. / Ashimori Industry Co., Ltd. / DAIDO KOGYO CO., LTD. / Enkei Corporation / FINE SINTER / HISADA CO., LTD. / Honda Motor Company / Imasen Electric Industrial Co., Ltd. / Ishihara Co., Ltd. / Kurabe Industrial Co., Ltd. / Kyowa Leather Co., Ltd. / JTEKT Corporation / NISSIN KOGYO CO., LTD. / MAHLE ELECTRIC DRIVES JAPAN CORP / Mazda Motor Corporation / Musashi Seimitsu Industry Co., Ltd. / SHIMIZU INDUSTRY / Shinetsudenso Inc. / SOMIC ISHIKAWA INC. / TOKAI RIKKA CO., LTD. / Tohatsu Corporation. / Toyota Industries / UNIVANCE CORPORATION / Yutaka Giken Co., Ltd. / Yutaka Ind. Co., Ltd.

MACHINERY

HOKUETSU INDUSTRIES CO., LTD. / FANUC CORPORATION / Janome / Makita Corporation / Sumitomo Heavy Industries, Ltd. / KITO Corp. / KOMORI Corporation / Makita / Mayekawa Mfg. Co., Ltd. / Mimaki Engineering / ORION MACHINERY Co., Ltd. / HOKUETSU INDUSTRIES CO., LTD. / Taihei Machinery Works, Ltd. / Takeuchi Manufacturing / Tsugami Corporation / TMEIC / Shimadzu / Shoda Iron Works / SUGIYASU Co., Ltd. / Sumitomo Heavy Industries / Taihei Machinery Works / WAKITA Corporation / YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

MACHINERY TOOL MAKER

AIDA ENGINEERING, LTD. / Amada Co., Ltd. / Komatsu Ltd. / DMG MORI SEIKI Co., Ltd. / Fuji Z Corporation / Okuma Corporation / YAMAZAKI MAZAK / CORPORATION / Kitamura Machinery Co., Ltd. / Nakamura-tome Precision Industry Co., Ltd. / AMADA HOLDINGS CO., LTD. / Hirata Corporation / JTEKT Corporation / KIRA CORPORATION CO., LTD. / IHI / Construction Machinery Limited. / Matsura Machinery Corporation. / NIDEC OKK CORPORATION / Takisawa Machine Tool Co., Ltd. / Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. / TOSHIBA MACHINE CO., LTD. / OKK CORPORATION

Chemicals

Agro-Kanesho Co., Ltd. / Aicello Corporation / Denka Company Limited / DuPont de Nemours, Inc. / KAYAKU AKZO CO., LTD. / Earth Corporation / Denka Company Limited / AI TECH CO., LTD. / Musashino Chemical / Laboratory, Ltd. / FUJI SILYSIACHEMICAL LTD. / Hoyo Co., Ltd. / INOACC CORPORATION / Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. / NC Corporation. / Kaneka Corporation / KANTO KAGAKU. / Kayaku Akzo Corporation / KH Neochem Co Ltd / Kuraray Co., Ltd. / Kyowa Pharma Chemical Co., Ltd. / Musashino Chemical Laboratory, Ltd. / NIPPON SEIRO CO., LTD. / NIPPON SHOKUBAI CO., LTD. / JAPAN VILENE COMPANY, LTD. / JSR / JX Nippon ANCI Corporation / NITTA DuPont Incorporated / ORIENT CHEMICAL INDUSTRIES CO., LTD. / Shin-Etsu Chemical Co., Ltd. / Taiyo Nippon Sanso Group / Techno-UMG Co., Ltd. / UBE Corporation / UENO FINE CHEMICALS INDUSTRY, LTD. / S. T. Corporation / UBE Corporation / NIPPON SEIRO CO., LTD. / KH Neochem Co., Ltd.

Printing

Toppan Printing Co., Ltd. / KOMORI Corporation

Electric equipment

Audio-Technica Corporation / Casio Computer Co., Ltd. / ELMO COMPANY, LIMITED / FDK CORPORATION / FUJITSU GENERAL LIMITED / JUKI Corporation / Maxell, Ltd. / Mitsubishi Electric Corporation / LIGHT BOY CO., LTD. / Rinnai Corporation

Clothing

Iron and steel

Wacoal Holdings Corp. NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION / Nippon Denko Co., Ltd. / Metal One Specialty Steel Corporation / Okita Iron Works Co., Ltd. / Sanryo Special Steel Co., Ltd.

FOODSTUFF

AIYA CO., LTD. / Delta International, Co.Ltd / Hikari Miso Co.Ltd / Kirin Holdings Co Ltd / Kizakura Co.Ltd / Gekkeikan Sake Co., Ltd. / MARUSAN-AI Co., Ltd. / The Marine Foods Corporation / MARUSAN-AI CO., LTD. / MC food Specialties Inc / MISIA Corporation / Nippon Del Monte Corporation / St.Cousair Co., Ltd. / Tokyo Mutual Trading Co.Ltd. / GINBIS CO., LTD. / Nissin Food Products Co., Ltd. / Nippon Del Monte Corporation / SAPPORO GROUP LOGISTICS / SANJURUSHI Corp. / Suntory Holdings Limited / DAISHOFOODS. / TAKARA HOLDINGS INC. / TAKEMOTO OIL & FAT CO., Ltd. / Wismettac Foods, Inc. / YAMASA CORPORATION / YOKUMOKU

Trading company

Asahi Kasei Advance Corporation. / CBC Co., Ltd. / Chori Co Ltd / CP Foods / Crown Trading Co., Ltd. / Daido Kogyo Co., Ltd. / Daido Shoji / ITOCHU CHEMICAL FRONTIER Corporation / MARUBENI-ITOCHU STEEL INC. / M-mart Inc. / JFE SHOJI TRADING CORPORATION / KOHYO Co., Ltd. / Kowa Company, Ltd. / Kyokuto Boeki Kaisha, Ltd. / MARUBENI-ITOCHU STEEL INC. / M-mart Inc. / Mitsubishi Corporation RtM Japan Ltd. / Tekmatex Corporation / Shinsho Corporation / HANWA CO., LTD. / Chori Co., Ltd. / Tanaka Ai Co., Ltd. / Thyoel Co., Ltd. / Toyota Tsusho Corporation. / OKAYA & CO., LTD. / Shinsho Corp / Sojitz Corporation. / The PIONEER Group / Tekmatex Corporation / Tokyo Mutual Trading Co.Ltd. A / Kowa Company, / Limited / Mitsubishi Corporation / MITSUI & CO., LTD. / Marubeni Corporation / Toyotsu Chemiplas Corporation / Toray International, Inc. / PIONEER TRADING Co., Ltd. / HANWA CO., LTD. / Fukusui Shoji Ltd. / Honda Trading Corporation / The Marine Foods Corp / Marubeni Techno-Systems Corp. / Mitsubishi Corporation Plastics Ltd. / Metal One Corporation / JFE Shoji / SMB Kenzai Co., Ltd.

Mover

AISAN TIGERS / Phoenix Transport (Japan), Ltd. / Santa Fe Relocation Services (S) Pte. Ltd. / Sakai Moving Service Co., Ltd.

Logistics Company

DHL Global Forwarding / EXEDY Logistics Co., Ltd. / FUJI TRANSPORT SYSTEMS CO., LTD. / HANKYU HANSHIN EXPRESS CO., LTD. / ISEWAN TERMINAL SERVICE CO., LTD. / JAPAN EXPRESS CO., LTD. / Japan Van Lines Co., Ltd. / J.C. TRANS CO., LTD. / JPT LOGISTICS CO., LTD. / Kamigumi Co., Ltd. / KAWANISHI WAREHOUSE CO., LTD. / KOMATSU LOGISTICS CORP. / Konoike Transport / KOBELCO LOGISTICS, LTD. / KSA INTERNATIONAL INC. / GOTO KAISOTEN LTD. SANKYU INC. / MARUBENI LOGISTICS CORPORATION / Maruzen Showa Unyu Co., Ltd. / MEIKO TRANS CO., LTD. / Meitetsu World Travel, Inc. / Mitsui-Soko / Mitsui Soko Express / NAKATANI KOUN / NIKKON Holdings Co., LTD. / NIPPON STEEL LOGISTICS CO., LTD. / NK International / Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd. / NITTO TOTAL LOGISTICS / MOL Logistics Co., Ltd. / NIPPON EXPRESS / NIPPON KONPO UNYU SOKO CO., LTD. / NISSIN CORPORATION / NISSUI LOGISTICS CORPORATION Sapporo Group Logistics / SANKYU INC. / SBS Toshiba Logistics Corporation / SGH GLOBAL JAPAN CO., LTD. / Seibu Transport Group / SENKO Co., Ltd. / Sumisho Global Logistics Co., Ltd. / Suzuyo & Co., Ltd. / TAKASUE / The Shibusawa Warehouse Co., Ltd. / Toyo Trans / TOYOTSU LOGISTICS SERVICE CO., LTD. / UTI Japan / Yamato Transport Co., Ltd. / YUSEN LOGISTICS CO., LTD.

Other

Metal One Corporation / Hoyo Co., Ltd. / Nippon Menard Cosmetic Co., Ltd. / Rinnai Corporation / RED BARON Co., Ltd. / SHIN-ETSU DENSO CO., LTD. / Seria Co., Ltd. / AICELLO CHEMICAL CO., LTD. / Fujiopian Co., Ltd. / INOACC CORPORATION / ELMO COMPANY LIMITED / Okamoto Industries, Incorporated / NGK INSULATORS, LTD. / UniCarriers Corporation / Gunze Limited / Nitta Corporation / Hitachi Maxell, Ltd. / Japan Pallet Rental Corporation / Kaneka Corporation / GC Corporation / Fujitsu General Limited. / Daiso Industries Co., Ltd. / Earth Chemical Co., Ltd. / IBIDEN CO., LTD. / Kansai Paint Co., Ltd. / Kidaseiko Co., Ltd. / GC Japan / THE SAILOR PEN CO., LTD. / Daiichi Kasei Co., Ltd. / Daikin Industries, Ltd. / Daiso-sangyo / TSURUMI MANUFACTURING CO., LTD. / Teijin Limited / Tentok Paper / Tokai Carbon Co., Ltd. / TOHO CHEMICAL INDUSTRY COMPANY, LIMITED / TOYO GREEN CO., LTD. / TOPPAN INC. / TOMOEGAWA CO., LTD. / NITORI / NGK Insulators / NIPPON STRAW CO., Ltd. / Japan Pallet Rental Corporation / IHON RIKKA SEISHI CO., LTD. / Noritz Corp / HAGIWARA ELECTRIC HOLDINGS CO., LTD. / PALTAC Corp / Hitachi Power Semiconductor Device, Ltd. / FUJICOPIAN CO., LTD. / Maxell, Ltd. / MEIDOH CO., LTD. / METAL DO CO., LTD. / UNITIKA LTD. / UniCarriers Corporation / YANMAR HOLDINGS CO., LTD. / Logisnext Co., Ltd. / WACOAL HOLDINGS CORP. / AGC Inc. / KJ SPECIALTY PAPER Co., Ltd.

Japan Trust Office

オフィス（国内拠点）

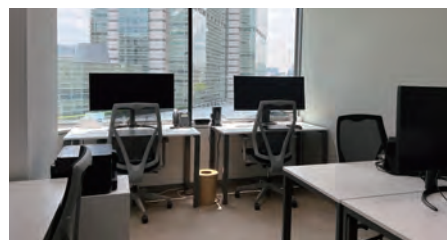
NAGOYA HEAD OFFICE

[名古屋本社]



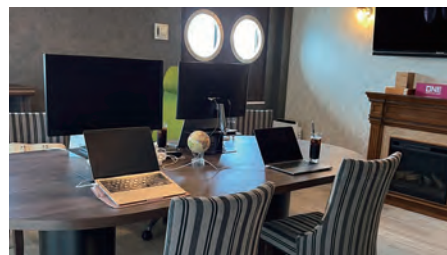
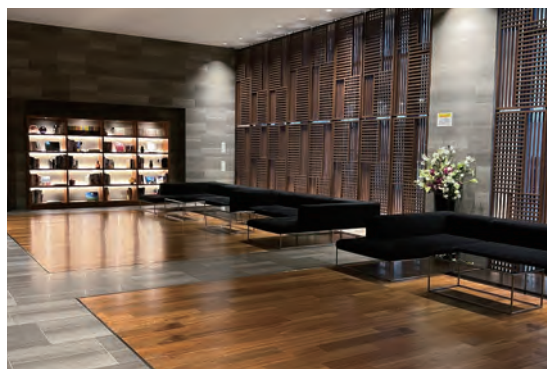
TOKYO HEAD OFFICE

[東京本社]



OSAKA BRANCH

[大阪支店]



<https://www.jpntrust.co.jp/>

名古屋本社

〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内2-17-12
丸の内エステートビル9階

東京本社

〒108-0075
東京都港区港南 2-16-1
品川イーストワンタワー 7階

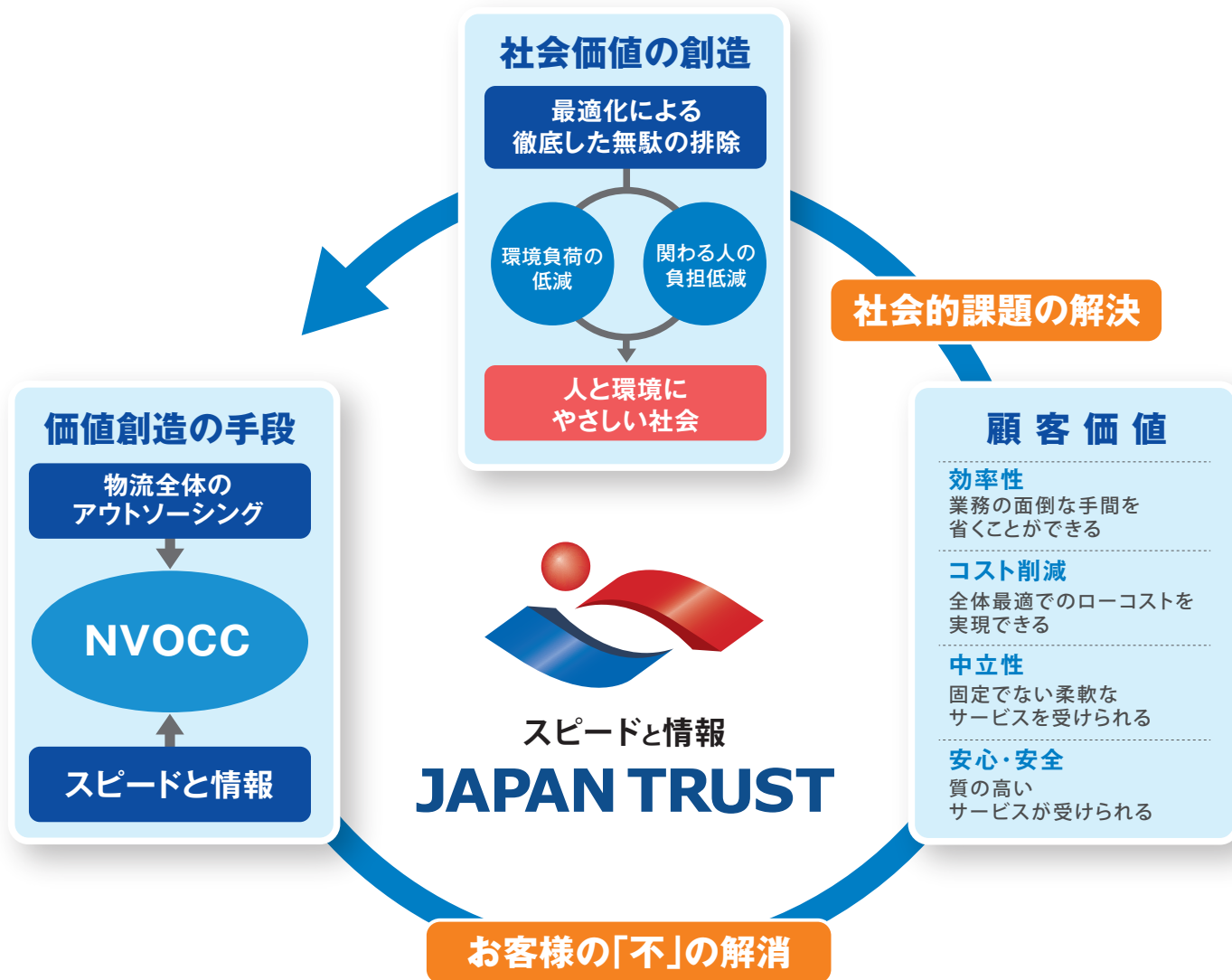
大阪支店

〒541-0054
大阪府大阪市中央区南本町4-3-16
プランスタワー 御堂筋本町2706

Social Value for Sustainability

ジャパントラストの社会価値創造

国際社会における最適物流の推進により、
「人と環境にやさしい循環型社会」実現に貢献します。



「社会性」という

新たなブランド価値が問われる時代

ITの進化やソーシャルメディアの普及により、今世の中全体で大きなパラダイムシフトが起きている。特にソーシャルメディアの存在は、企業コミュニケーションのあり方にまで大きな転換を迫ることとなりました。たとえば、かつては規模や知名度で判断されることが多かった企業の評価も、今は、その企業の事業が世の中にどのように役に立っているのか、「社会性」をモノサシにして企業の価値を測る人たちが増えてきています。これからの企業は、より社会の視点に立ってサービスや商品の価値を磨いていくことが重要になってくるのではないのでしょうか。この時代の流れはもはや止めることは難しく、今後さらに加速していくことが予想されます。

「物流」の最適化から「社会」全体の最適化へ

世の中の価値観の変化を受けて、ますます重要になってきているのが、サプライチェーン全体での「物流」の捉え方です。グローバル化が進んでいく中で、サプライチェーンに関わる個々の企業の最適化だけでなく、そこに关わる企業全体、関わる人すべてを考慮した物流全体での最適化が求められているのです。私たちジャパントラストが推進する「最適物流」は、流通経路における無駄を削減してお客様に貢献するものですが、社会全体に視点を移すと、環境負荷の低減や資源利用の効率化など、地球環境保全という観点から大変意義のあるものです。今後は「物流」をトータルに考え、循環型社会における新たな価値創造に全力で取り組んでまいります。

貨物を実際に見てきた 経験が自分にとっての 大きな強みです。

営業部

高橋 晃司

Takahashi Kohji

1984年生まれ。長野県上田市出身。城西国際大学経営情報学部卒業。JALcargo (航空貨物オペレーション業務全般)を経て2011年入社。名古屋本社で2年間 東海・北陸・関西地域、東京支店で7年間東日本地域を担当後、取締役就任。現在は米国現地法人Great Luck Inc.にてAssistant General Managerを務める。



私の思い

航空貨物の現場を経験

ジャバントラストに入る前は、航空会社で貨物を扱う仕事をしていました。成田国際空港で、通関を終えた貨物をどこにどう積み付けするかを決める仕事です。ここで培った4年半の経験は、今の仕事に大いに役立ちますね。航空貨物を扱う際には、現場の事情を考慮しながら提案・要望をすることができます。航空貨物が専門だったので、海上に関して直接の経験はありませんが、物を運ぶという基本は同じ。こういった梱包形態なのか、貨物がどう流れていくのか。そういったことは実際に目で見てきた経験があるので、状況をイメージしやすいですね。

「航空貨物に関してはジャバントラストで右に出る者はいない!」と言いたいところですが、残念ながらそういうわけではありません。この会社には中に優秀なスタッフがたくさんいます。営業マンの活動をそうした内勤の人たちがしっかりサポートする体制ができていることが、この会社の最大の強みと言えるでしょう。

営業未経験でスタート

昔から乗物・飛行機が好きだったこともあって航空関連の企業に就職したわけですが、やっぱり大きな会社では自分が果たせる役割に限られてしまうということを痛感しました。悪く言えば、会社の歯車として与えら

れた仕事をするだけ。だからもう大企業はいかない、と思って転職を決意しました。今度は小さな会社で、自分に任される役割の大きいところで働こうと。その方が人生楽しいんじゃないか、と思ったわけです。

ジャバントラストに入るときに一番不安だったのが、「自分に営業ができるのか?」ということ。実は、この会社に入るまで営業をしたことがなかったんですよ。航空業界の経験はあっても肝心の営業は未経験。入社したばかりの頃は、営業に行くたびにドキドキしていました。お客様のところへ訪問するときは、まるで就職の面接に行くような気分。日々緊張の中で経験を積んでいきました。

お客様とのトラブルも糧に

営業をする中でいろんなことを経験してきましたが、中には苦い経験も少なくありません。以前、昔から取引のあった乙仲さんと、ある荷主の案件をめぐるトラブルになってしまいました。ちょっとした行き違いが原因だったんですが、その乙仲さんの担当の方はこちらの話を聞かずに、表情を一変させて激昂。それから約3時間、針のむしろに座らされているような状態に……。

こちらは事の経緯を説明するとともに、その乙仲さんに対する思いを必死で訴え続けました。担当の方からはかなり厳しい言葉を掛けられましたが、なんとか理解していただき、事なきを得ました。その3時間の中で、担当の方の口から「帰れ」や「二度と来るな」という言葉は決して出てきません。怒りを表しながらも、本気で当社との取引を断つことま

では考えてなかったんですね。ただ、私の頭の中は「早く解放されたい!」という思いでいっぱいでしたが……。

この件に関しては、その後無事取引が始まり、今も良好な関係が続いています。まだまだ営業経験の浅かった自分にとって、多くのことを学ぶ良い機会になりました。

アメリカに行きたい!

普段仕事をする中で、お客様に感謝する気持ちは絶対に忘れないようしています。お客様から仕事をいただけるお蔭で、自分が生活できるんだと。ただ漫然と仕事をこなして給料をもらうという意識では、自分の成長も会社の成長もないでしょう。

ジャバントラストは、この点で意識が共有できていると言えます。この会社では、社員一人ひとりが経営者意識を持っています。売上げが給与に反映される仕組みがあることも理由ではありますが、会社の売上げを社員全員が意識することが会社の成長に繋がってきたのは確かでしょう。社内では、そうした数字が常にわかるようにしています。目の前に見えるのは数字ですが、その数字の向こうには常にお客様が見えているのです。

今後の目標は、まず社内ではトップセールスマンになることです。日本でしっかり結果を残して、その後チャンスがあればアメリカに駐在したいですね。アメリカが好きなんです。留学していた国ということもありますが。とりあえずは現実的なところで、年に1回アメリカ旅行に行くことを目標に、日本で仕事を頑張りたいと思います。

うちの会社のお客様に 私はなりたい。 (本気です)

営業部

日比野 弘嗣

Hibino Hirotsugu

1983年生まれ。愛知県一宮市(旧尾西市)出身。京都外国語大学外国語学部卒業。不動産関連会社での営業職を経て2013年入社。名古屋・関西を中心に西日本地域を8年担当した後、独立。現在はジャバントラスト集荷代理店を務める。



私の思い

面白そうな会社だから 入社を決意した

「こういう面白い会社があるけど、どう?」。転職会社の担当者から紹介されたのが、ジャバントラストを知ったきっかけ。さっそく応募し、社長の面接を受けることになりました。いろんな話を聞く中で、「自分にぴったりの会社では?」と思えてきました。酒が飲めるし、それに……(笑)。

後日、社内で行われたお客様の接待に同席させていただきました。そこで、タバコを吸うためにお客様と2人で外に出たところで、ジャバントラストの印象を聞いてみました。すると、「営業マンはいろいろやってるし、社長も面白いし、楽しい会社だと思うよ」との答えが。お客様がそう言う会社なら間違いないですよ。この言葉を聞いて入社を決めました。

お客様のための出費は青天井

ジャバントラストに入る前は、不動産関連の営業をやっていました。海運業界はもちろん初めてです。全くの畑違いですが、それほど不安はありませんでした。営業の仕事は、人とのコミュニケーションが第一。売る物が違ってもやることは基本的に同じ。必ずしも知識が必要ということはない。そう信じて仕事をしてきたので、異業種でも大丈夫だと確信していました。

この会社は、営業マンが自分のやりたいようにさせてくれることが魅力です。面接

でそういう話は聞いていましたが、実際に入ってみたら想像以上でした。お客様のためを思っただけでやることに関して、会社は出費を惜しみません。私自身がお客様になりたいくらいです(本気です)。

お客様とは、本当に気楽にお付き合いをさせてもらっています。年上の方からは可愛がられ、年下の方からは慕われる。私自身、物怖じしない性格で、初対面のときからお客様と気楽に接するようにしているので、相手の方もすぐに心を開いてくれるようですね。会社では打ち解けにくい雰囲気になってしまう場合があるので、私は極力会社の外でお客様と会うようにしています。夜の席で初めてお客様と会うことだったのでありますよ。

お客様に助けられたことも

私は、いい意味で頑張り過ぎないことを常に心がけているので、そうした自然体なところもプラスに働いているのかもしれませんが、自分の良さや会社の良さを、肩肘張らずにどうお客様に伝えるか。そこが大切だと思います。単に値段が安いだけなら競争は多いと思いますが、うちはお客様との深いお付き合いしている会社はないんじゃないでしょうか。

以前、お客様との繋がりの大切さを痛感させられる出来事がありました。1人で営業に出るようになって1年程経ったときの話です。そのとき担当した仕事は、当社と船会社、梱包会社、乙仲の4社が絡む案件でした。お客様と連絡を取りながら慎重に進めていたんですが、当社のミスでトラブルが発生してしまったのです。余

分な費用が発生することになりました。明らかに当社のミスだったので、こちらでなんとか処理しようと考えていました。

すると、梱包会社の方が「うちも持つよ」と助け船を出してくれたんです。船会社の方も「今回だけ特別レートにするよ」と、便宜を図ってくれました。当社の損失が減るよう、他の3社のみなさんが骨を折ってくれたんです。それぞれ会社の上層部に掛け合うのは大変だったろうと思います。このときは本当に、感謝の気持ちでいっぱいになりましたね。

「私のファンを増やす」が モットー

ある乙仲の担当者から「日比野さんのために仕事取ってきます」と言われたとき嬉しかったですね。こちらが提出した見積りを持って、その方が営業に行かれたときのことです。幸い営業がうまくいき、仕事をいただくことができました。その方は、当社の給料は出来高制で、売上げが減ると私の給料が減ることを知っているで、「これで給料増えますよ」と言葉を添えてくださいました。この仕事を始めて、社外にも仲間が増えたことを実感した出来事です。

今後も「私のファンを増やす」をモットーに、どんどん取引を増やしていきたいですね。特に今担当している関西のお客様を増やし、いつか関西に拠点を設けられたらいいな、とも思っています。

なにせよ、これからもみなさんへの感謝の気持ちを忘れず、広く深くお付き合いをしていきたいですね。もちろんお酒を交えながら(笑)。



<https://www.jpitrust.co.jp/>

名古屋本社

〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内2-17-12 丸の内エーステートビル9階
Nagoya Head Office
9th floor, Marunouchi Estate Building, 2-17-12,
Marunouchi, Naka-ku, Nagoya, Aichi 460-0002 Japan

東京本社

〒108-0075
東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー 7階
Tokyo Head Office
7th Floor, Shinagawa East One Tower
2-16-1, Konan, Minato-ku, Tokyo 108-0075 Japan

大阪支店

〒541-0054
大阪府大阪市中央区南本町4-3-16 プランズタワー御堂筋本町2706
Osaka Branch
2706 Branz Tower,
4-3-16 Minamihonmachi, Chuo-Ku, Osaka 541-0054 Japan

ジャバントラスト米国現地法人



Los Angeles Head Office
1861 WESTERN WAY, TORRANCE, CA 90501
TEL: 310-984-1341 FAX: 310-783-1520

メキシコ営業事務所

Mexico Representative Sales Office
(HANKYU HANSHIN EXPRESS México S.A.deC.V.内)
Bodega T ubicada en Circuito Santa Fe No. 189,
Parque Industrial "Santa Fe III" del Municipio de
Silao de la Victoria, Guanajuato C.P. 36275
TEL: +52 (472) 748 9402

ブラジル営業事務所

Brazil Representative Sales Office
(SUZAN BRAZIL LOGISTICA LTDA.内)
R. PORTUGAL FREIXO, 242 ED. IMPERIAL OFFICE CONJ. 83
SUZANO - SAO PAULO - CEP 08674-170
TEL: (11)4744-5902 FAX: (11)4759-5324
E-MAIL: brazil@jpntsrut.co.jp



COMPANY PROFILE



国際物流の新基軸

NOVELTY OF INTERNATIONAL LOGISTICS SERVICE

私たちは「輸送、それはただ物を届けるのではなく、信頼を結び、世界を繋ぐことだ」と考えています。

ここで必要なのは、ワールドワイドなネットワークを活かし、安心・安全に商品をお届けする輸送コーディネーター。ジャパントラストは、お客様に最大の価値を提供できるよう、ひとつひとつの輸送に対して、最適な物流を提案し、丁寧にコーディネートしていきます。

お客様の物流パートナーとして、お客様のニーズに的確に応え、お客様の信頼を高め、お客様の利益に貢献します。私たちは当社のポリシーである「スピードと情報」を常に掲げ、物流のプロフェッショナルとして、お客様の期待を超えるサービスを提供させていただきます。

We believe that "transportation is not just about delivering goods; it is about building trust and connecting the world. What is needed is a transportation coordinator who can utilize our worldwide network to deliver goods safely and securely. Japan Trust proposes optimal logistics for each and every transportation to provide maximum value to our customers. We coordinate carefully.

As your logistics partner, we will accurately meet your needs, enhance your trust, and contribute to your profits.

We will always uphold our company policy of "Speed and Information", and as logistics professionals, we will provide services that exceed customer expectations.

代表取締役 神谷 隆

ジャパントラストが提供するサービス

SERVICE 質の高いサービス

国内外を問わず、最適・確実な手法で、お客様の必要な時期、必要な場所に、安全・確実にお届けします。物流ネットワークの構築を主眼として、総合物流への対応もさせていただきます。

We ensure delivery at the time and place designated by customer by utilizing the best and most reliable means in Japan and abroad.

We regard it as our primary service to build a logistics network for you but will provide you with general logistics service whenever necessary.

TIMELINESS タイムリー

国内・海外の物流パートナーと連携した国際複合一貫輸送により、小口貨物(LCL)から大口貨物(FCL)、小口混載貨物までドア・ツー・ドアをはじめ、きめ細かいサービスを提供します。

International intermodal through forwarding materialized by our partnership with domestic and overseas carriers enables us to take care of large lots(FCL) as well as small lots(LCL) including door-to-door delivery service.

LOW COST コスト削減

すべての輸送手段を効率よく組み合わせることで、最も競争力を生み出す価格をご提案。お客様の物流コスト削減のお役に立てるよう、最大限努力します。

We can offer low prices to enhance your competitiveness as we combine all available transport means efficiently. We are doing our utmost to help our customers reduce logistics related costs.

送り手・受け手の信頼の絆となること それが私たちの仕事です。

あらゆる業種業態で物流のアウトソーシング化が進む今日、私たちは『輸送、それは、ただ物を届けるのではなく、信頼を結ぶことだ』と考えています。ここで、必要なのは、ワールドワイドなネットワークを活かせる輸送コーディネーター。ジャパントラスト株式会社では、物流部門におけるパートナーとして、お客様のニーズに的確に応え、お客様の信頼を高め、お客様の利益に貢献します。

ジャパントラストを使う利点

Speed スピード

北米向けFCL専門業者として蓄積してきたノウハウ、そして米国の日本人駐在員がタイムリーに情報を提供することで、お客様の問題を迅速に解決します。

Low cost 安さ

北米航路だけで輸出入合わせた年間1万本の貨物を背景に、各船会社と日々、レート交渉をしております。弊社は徹底した少数精鋭により、社員一人あたりのコンテナ取扱本数は業界一となります。これらにより、安価なレート設定が可能です。

Convenience 利便性

お客様のスケジュール、納期、ニーズに合わせた船が選択できます。

Space securing ability スペース確保能力

主要船会社、アライアンスとSCを結んでおり、あらゆる輸送ニーズにお応えし、スペースを提供します。